

関越自動車道  
利根川橋耐震補強工事

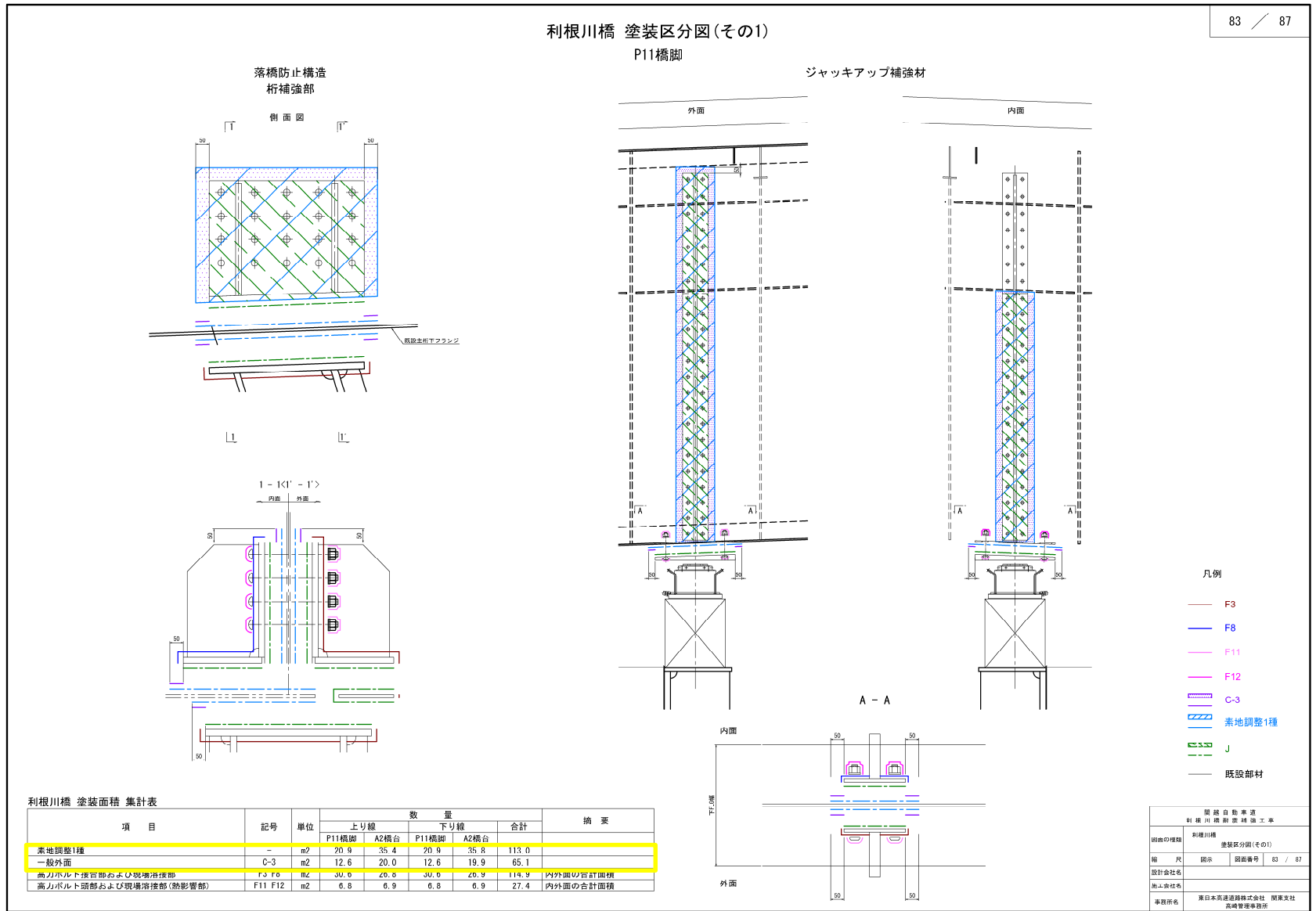
交付図書正誤表

東日本高速道路株式会社 関東支社

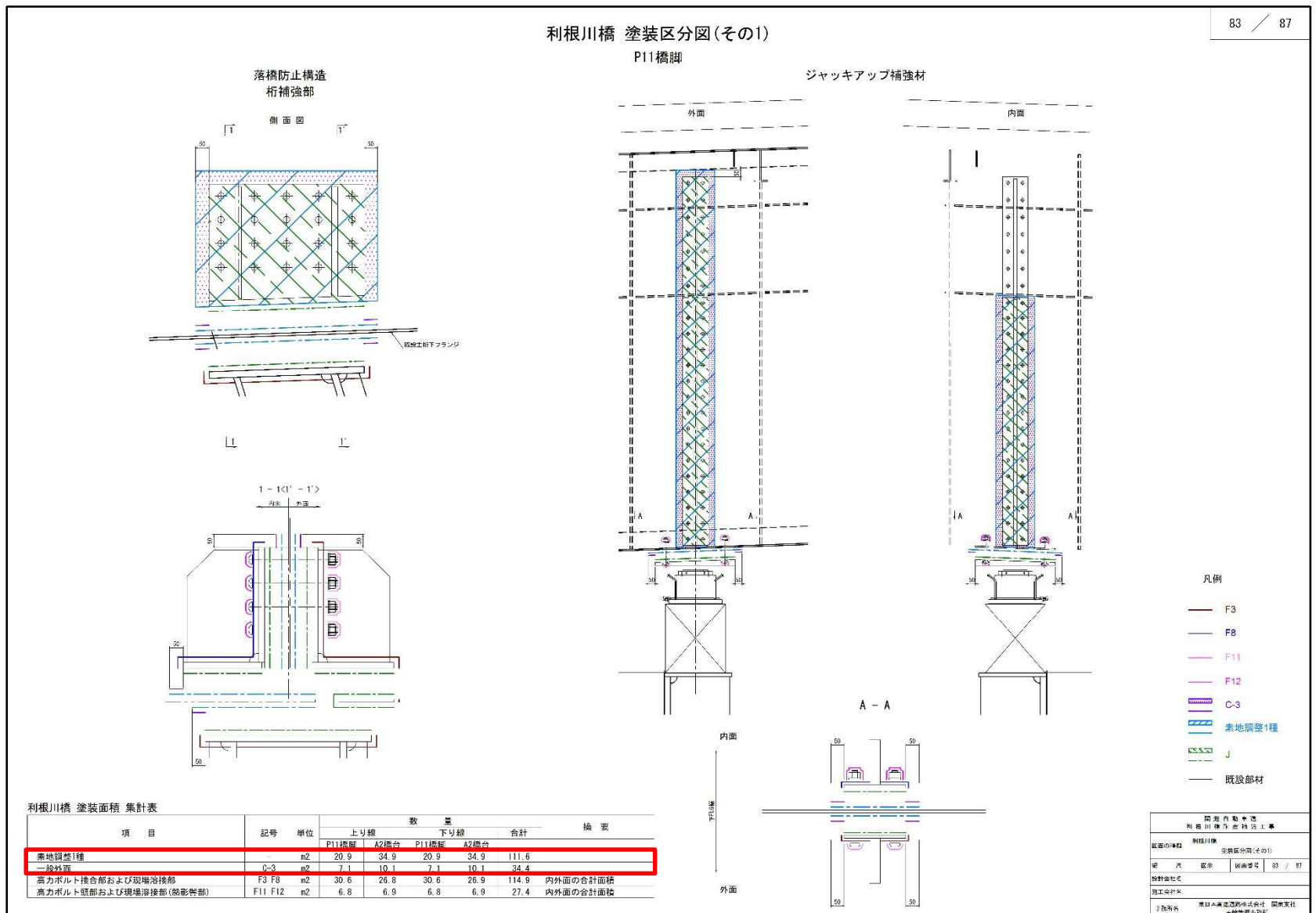
高崎管理事務所



誤



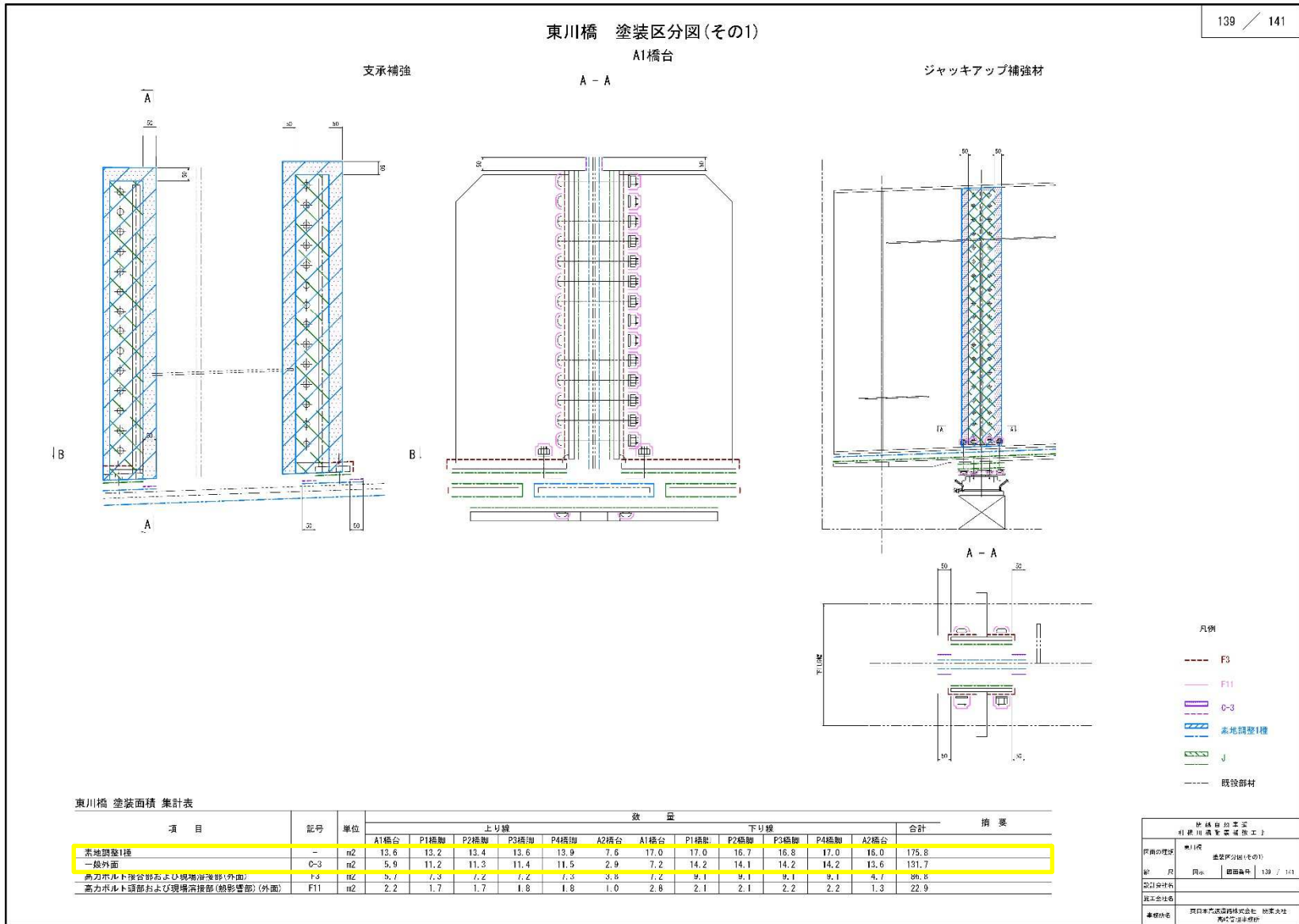
正



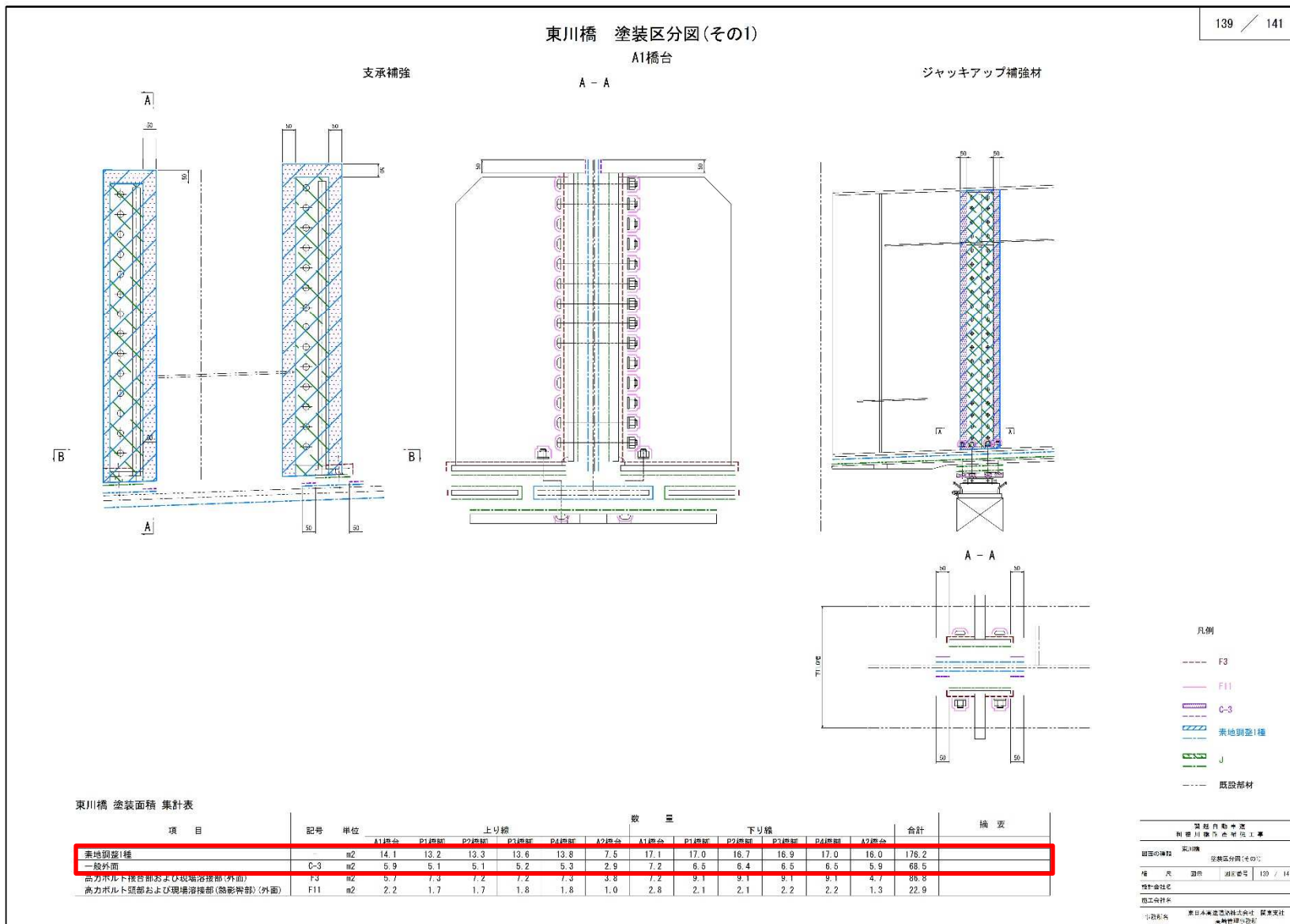
備考 集計表の数量訂正



誤

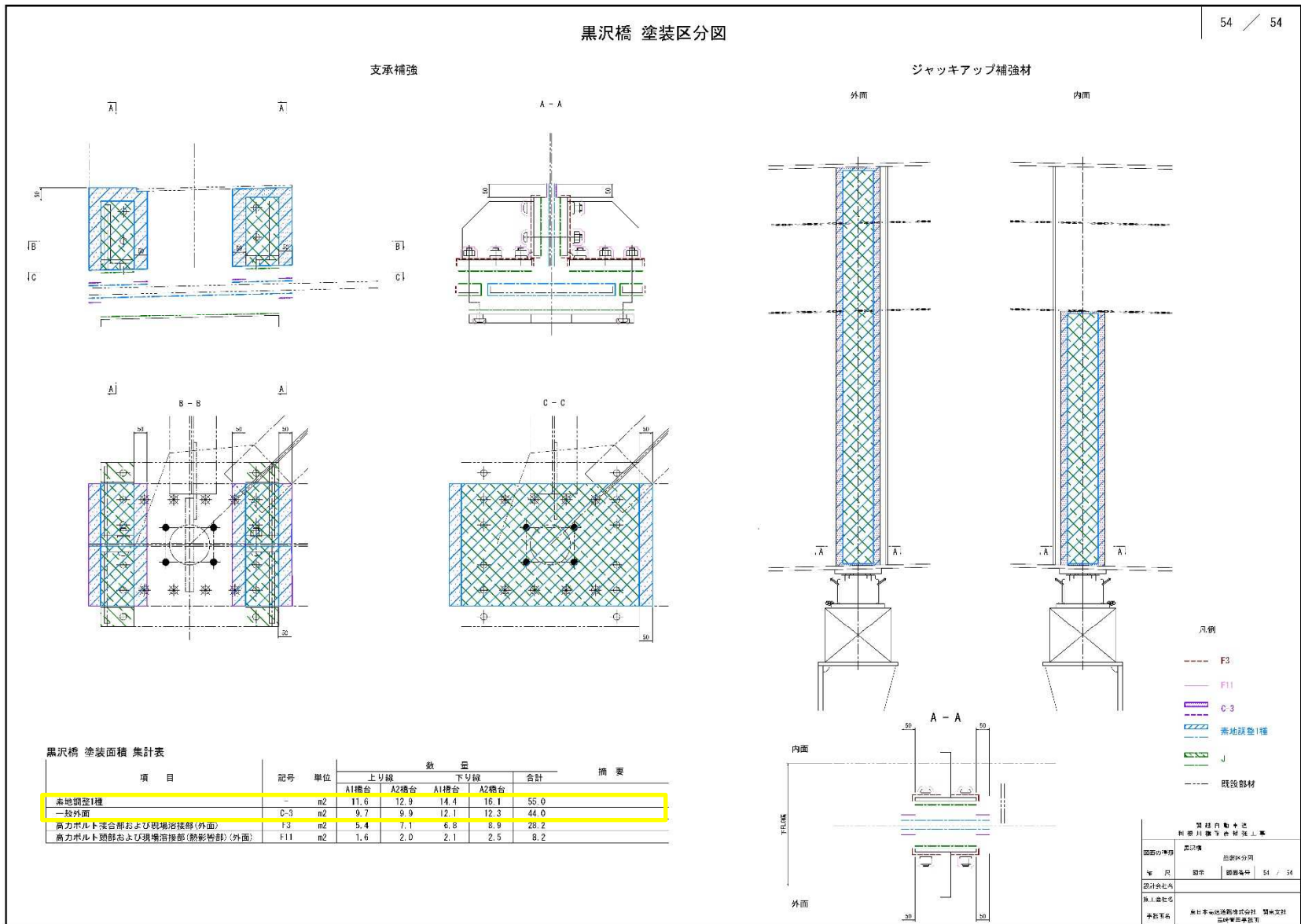


正

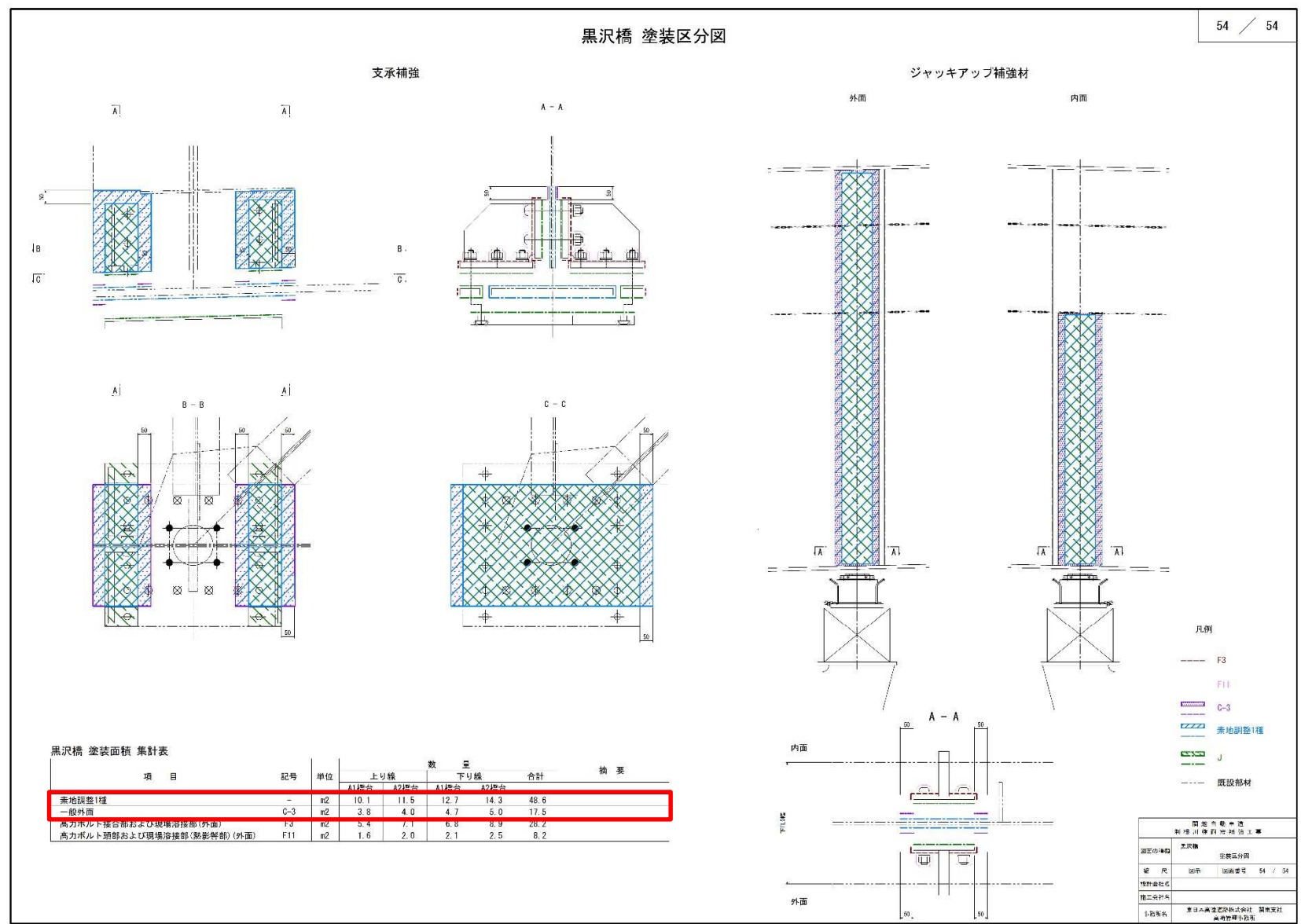


備考 集計表の数量訂正

誤



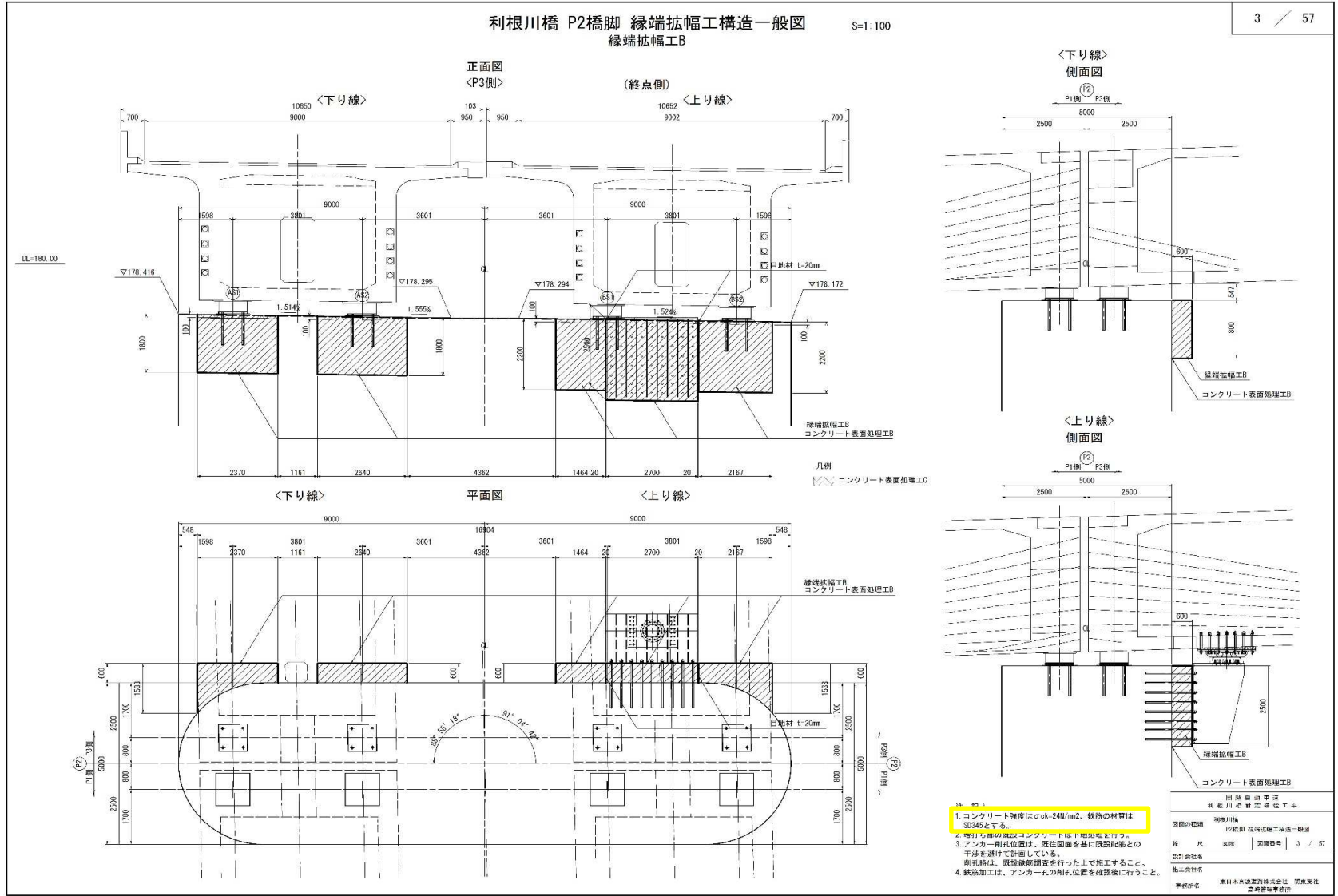
正



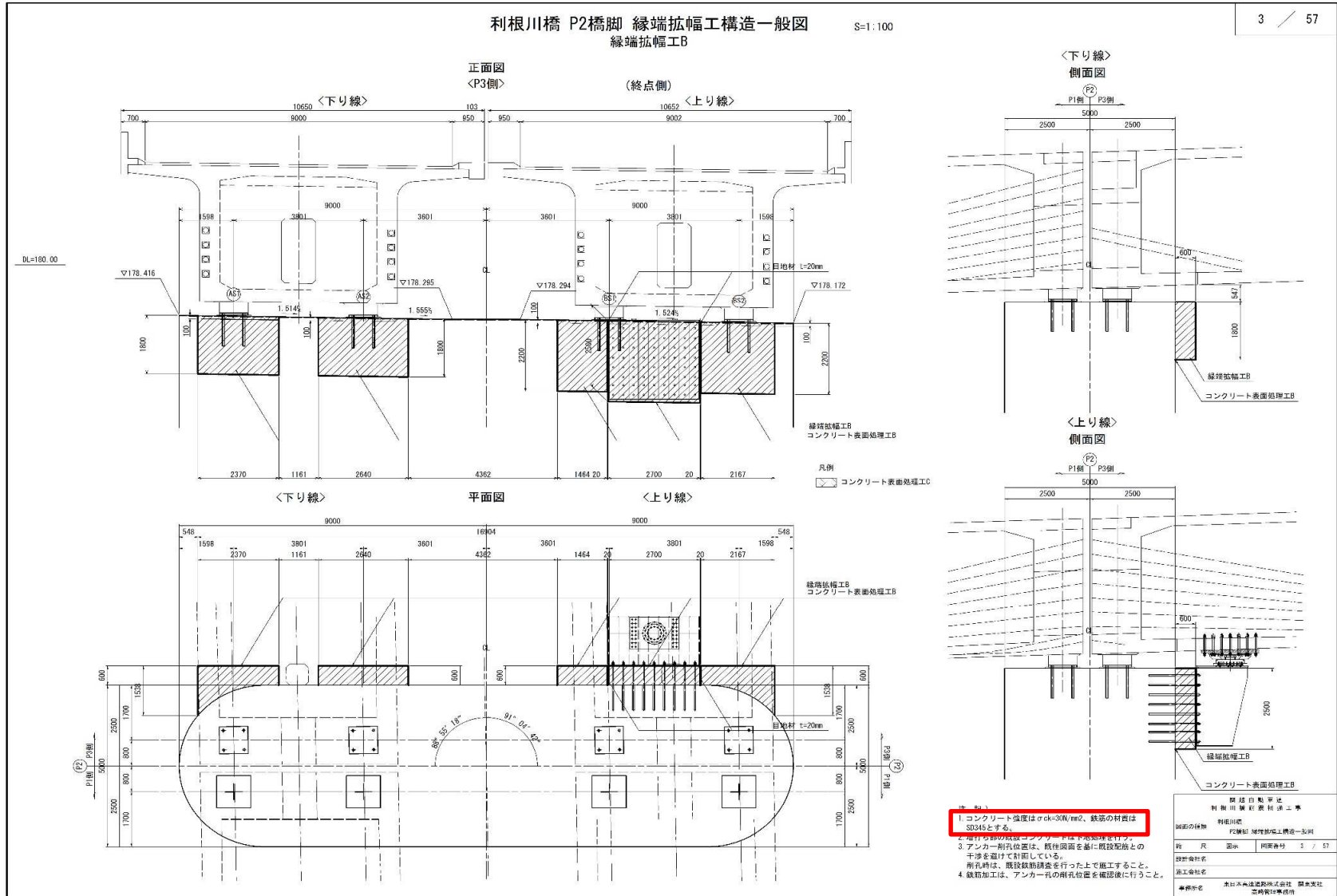
備考 集計表の数量訂正



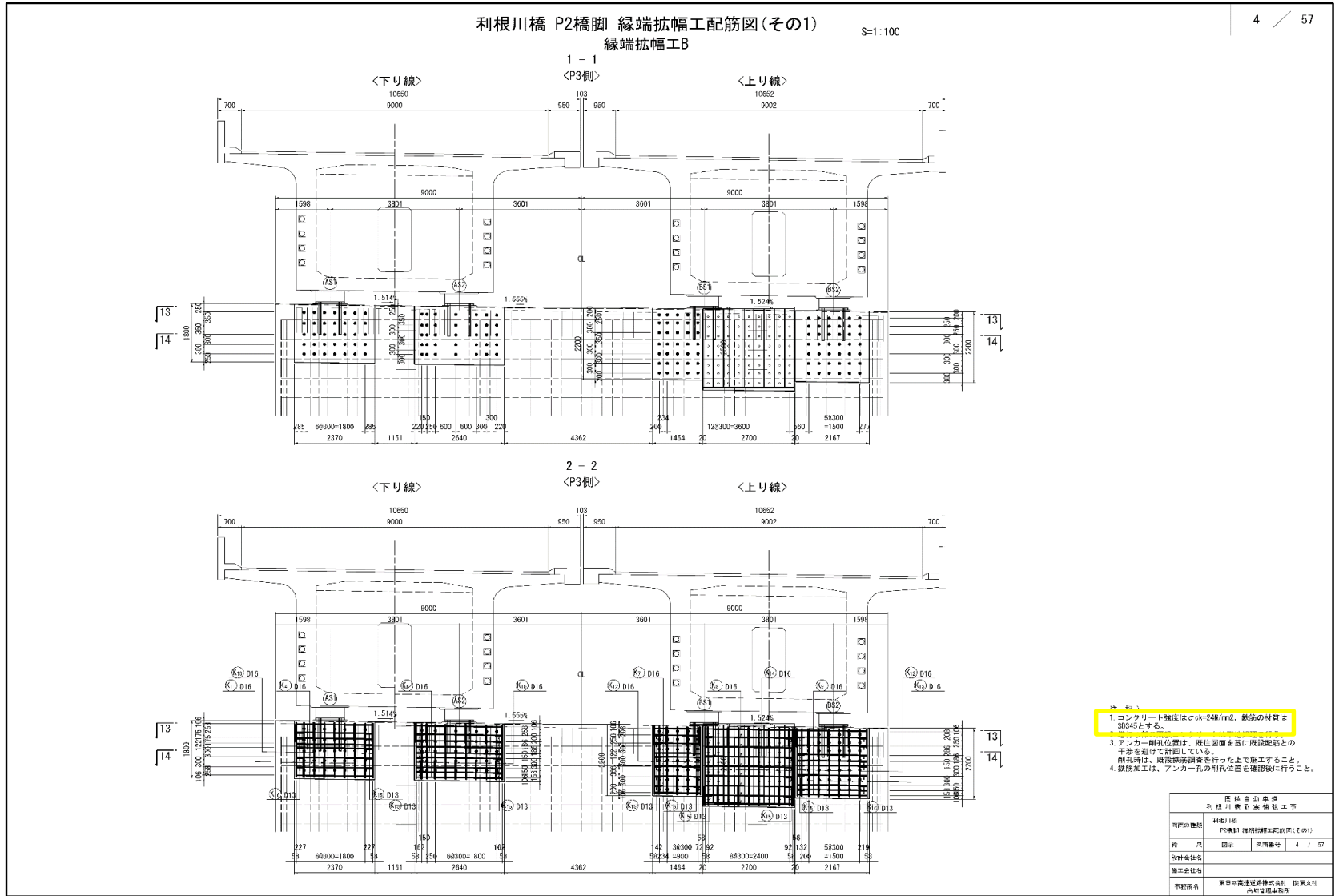
誤



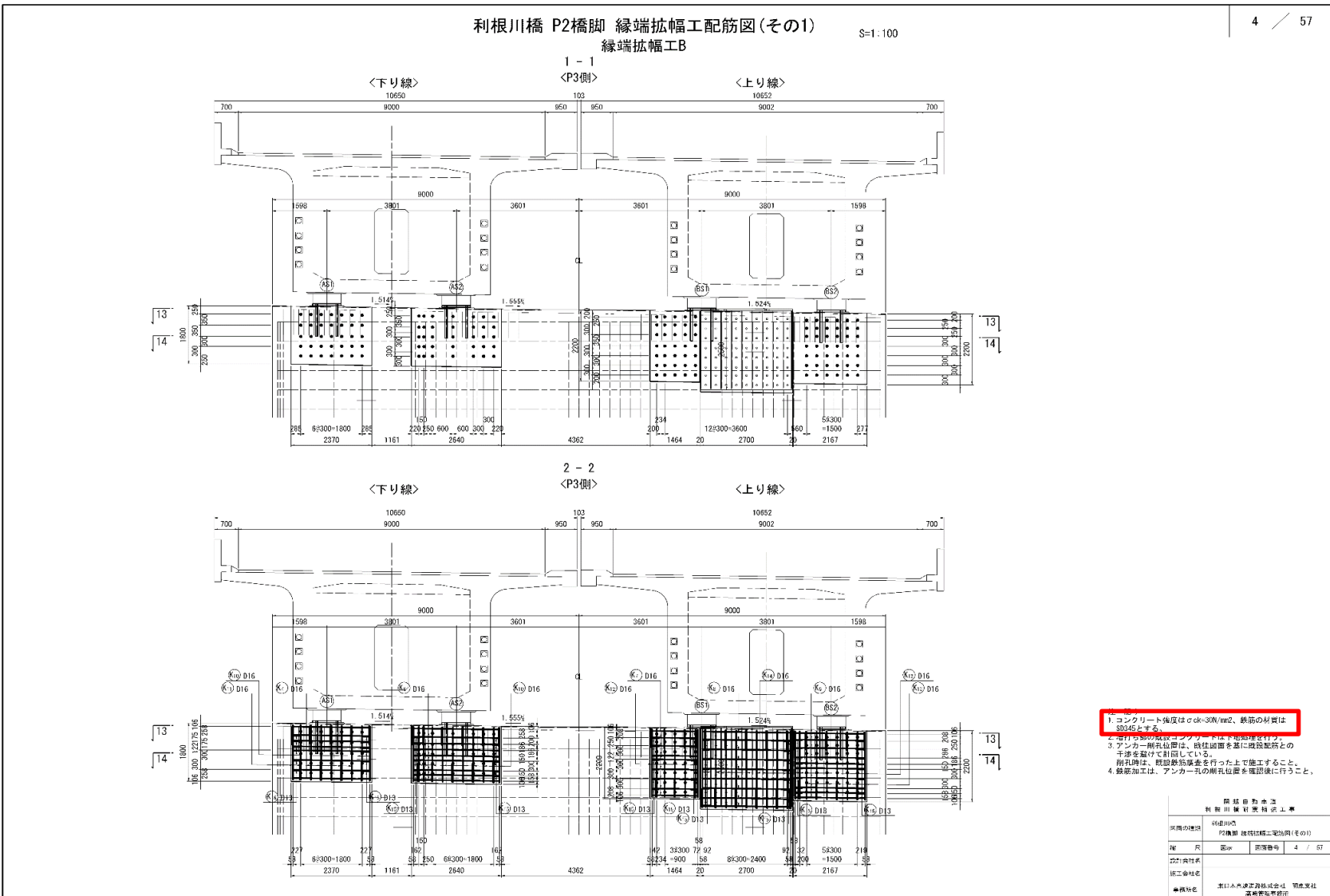
正



誤

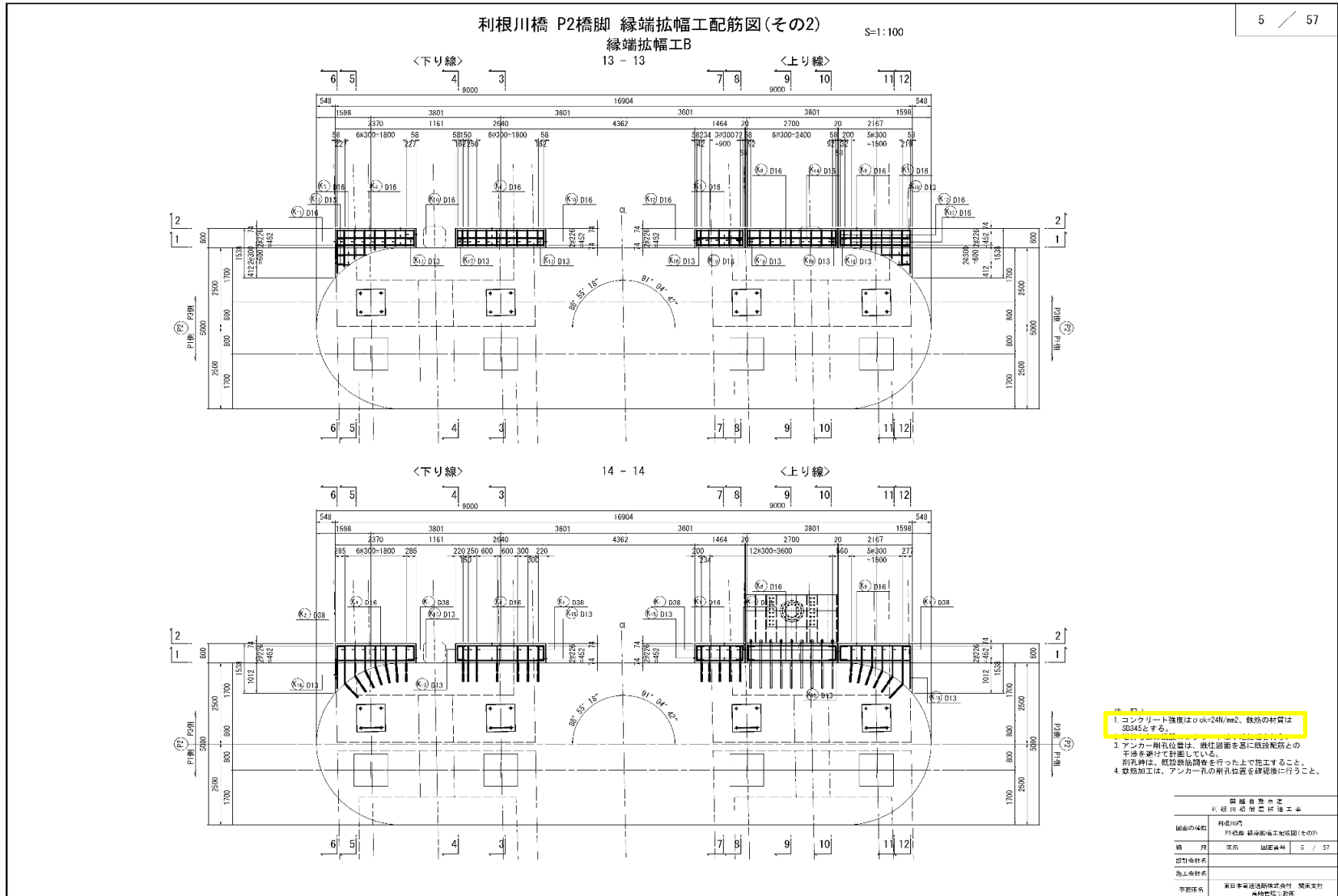


正



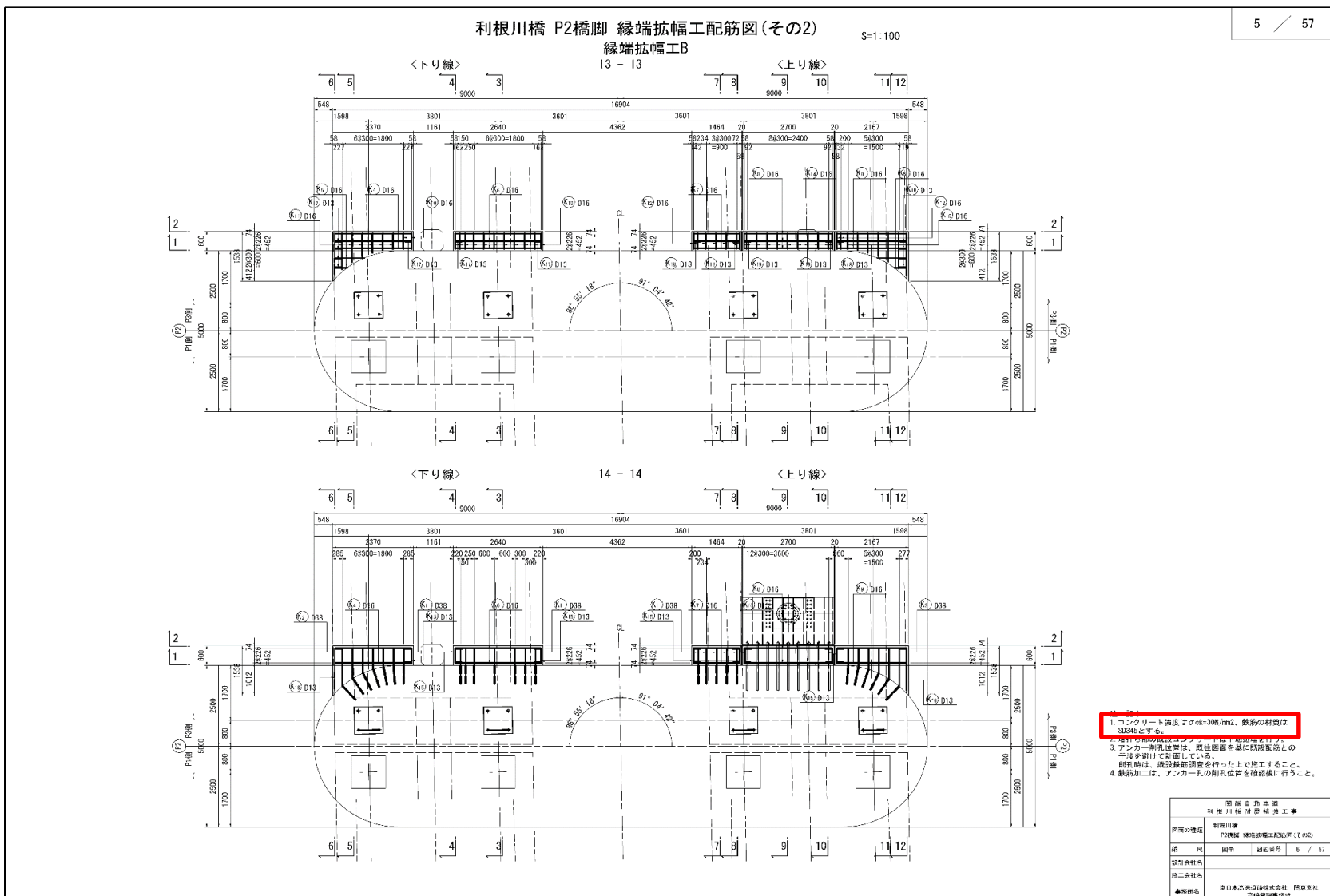
備考 注記の訂正

誤



- 1 コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋の材質はSD345とする。
- 2 アンカーボルト位置は、設計断面を基準に既設橋脚との干渉を避けて計画している。
- 3 アンカーボルトは、設計断面を基準に既設橋脚との干渉を避けて計画している。
- 4 鉄筋加工は、アンカーボルトのボルト位置を確認後に行うこと。

正

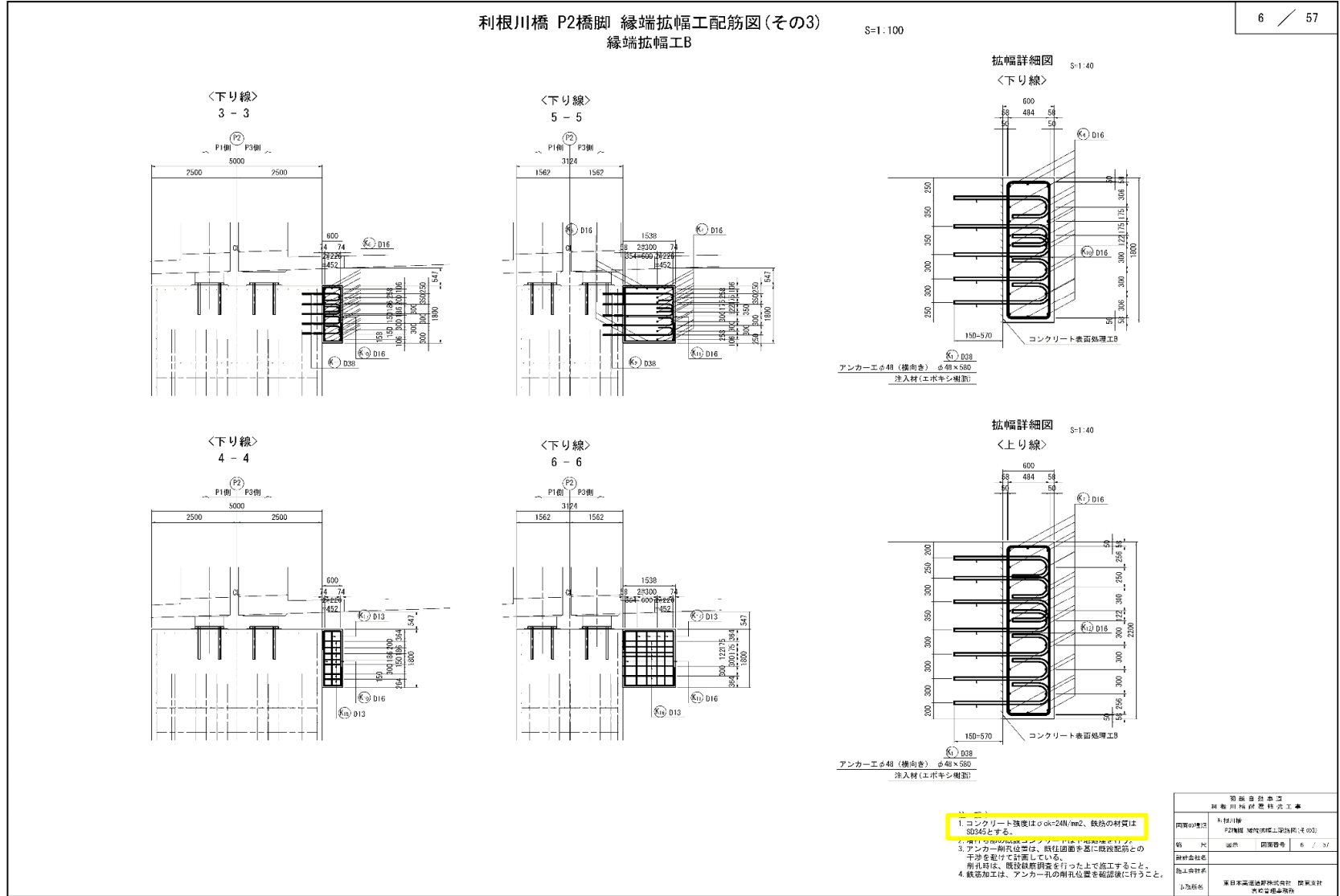


- 1 コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 、鉄筋の材質はSD345とする。
- 2 アンカーボルト位置は、設計断面を基準に既設橋脚との干渉を避けて計画している。
- 3 アンカーボルトは、設計断面を基準に既設橋脚との干渉を避けて計画している。
- 4 鉄筋加工は、アンカーボルトのボルト位置を確認後に行うこと。

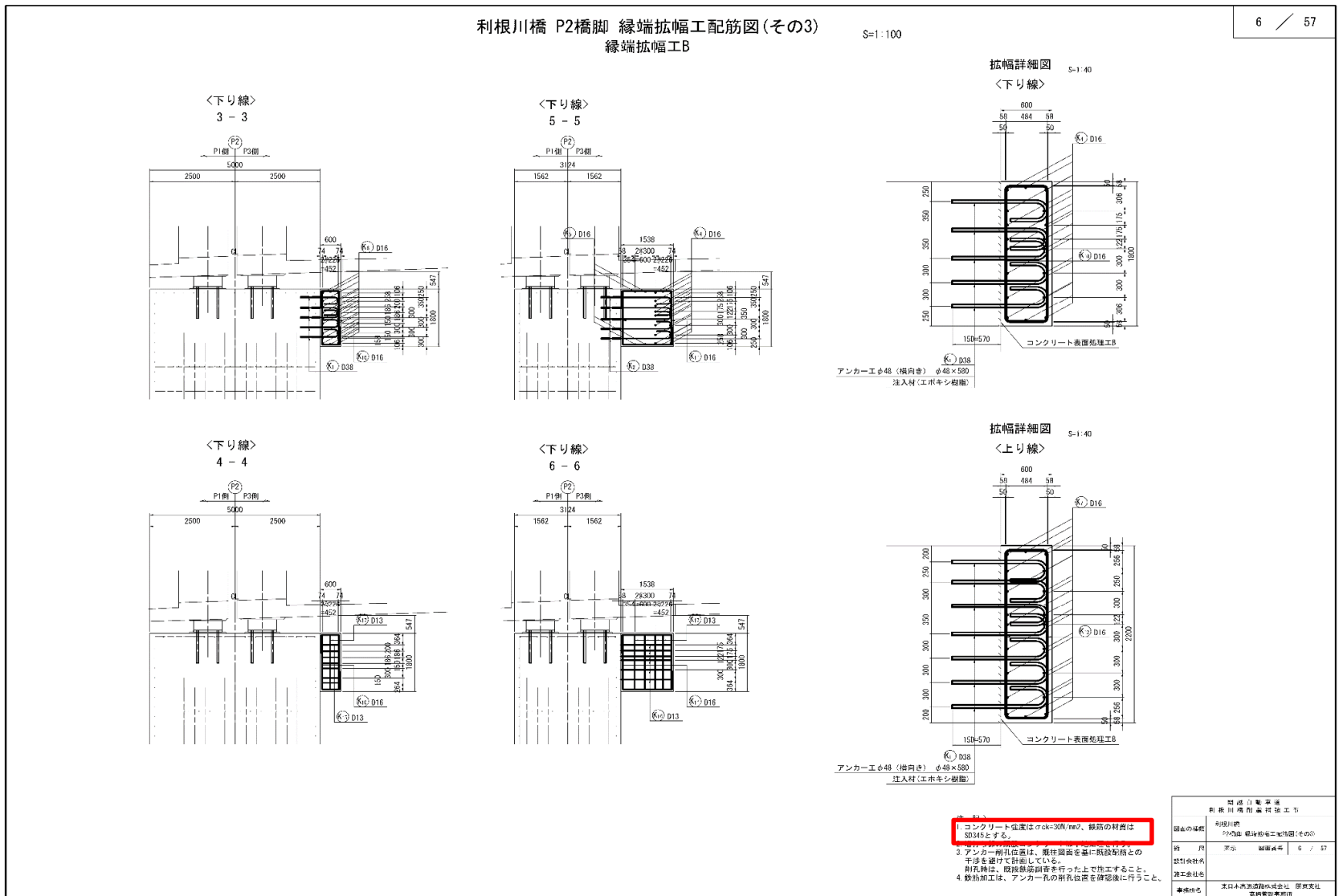
備考 注記の訂正



誤



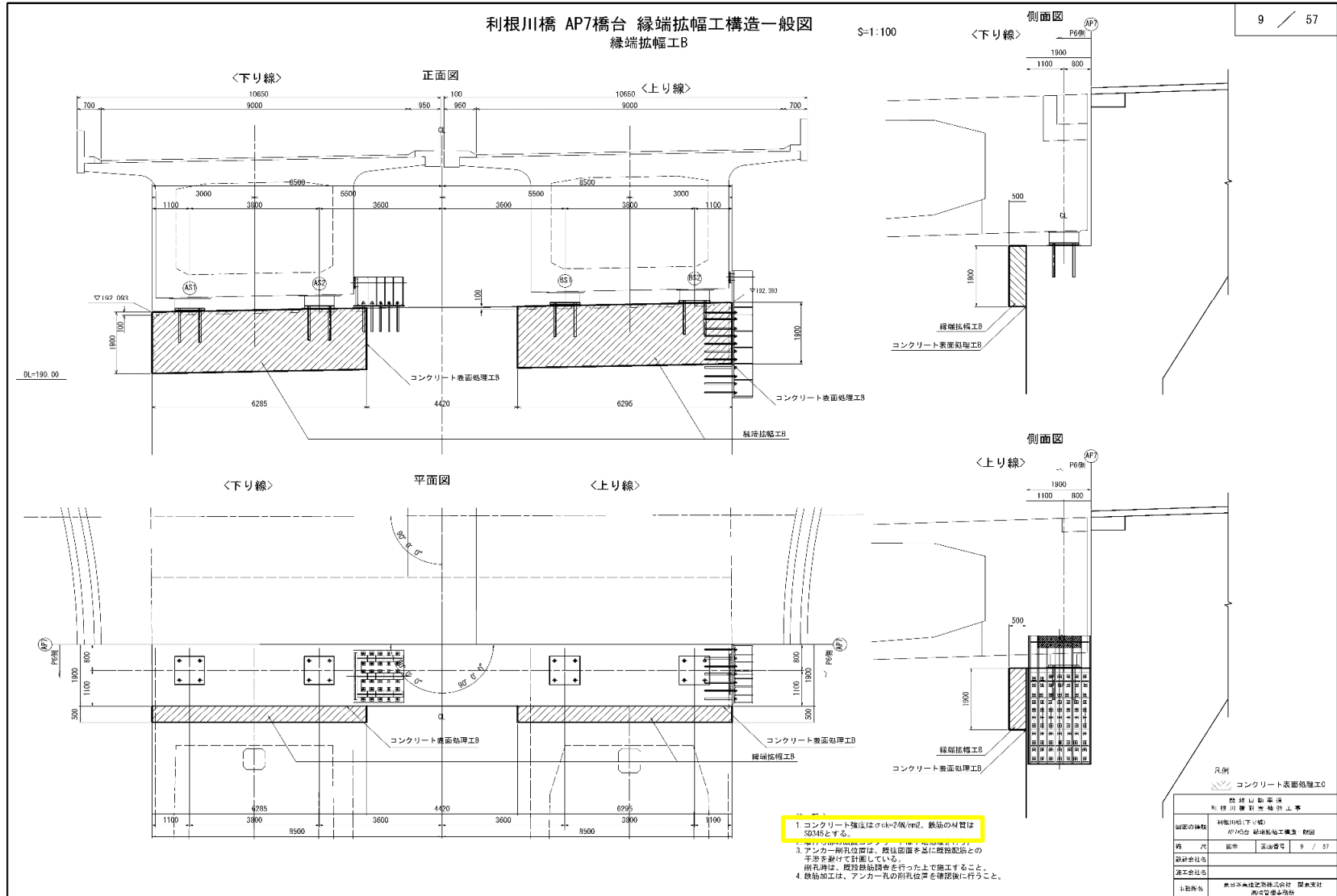
正



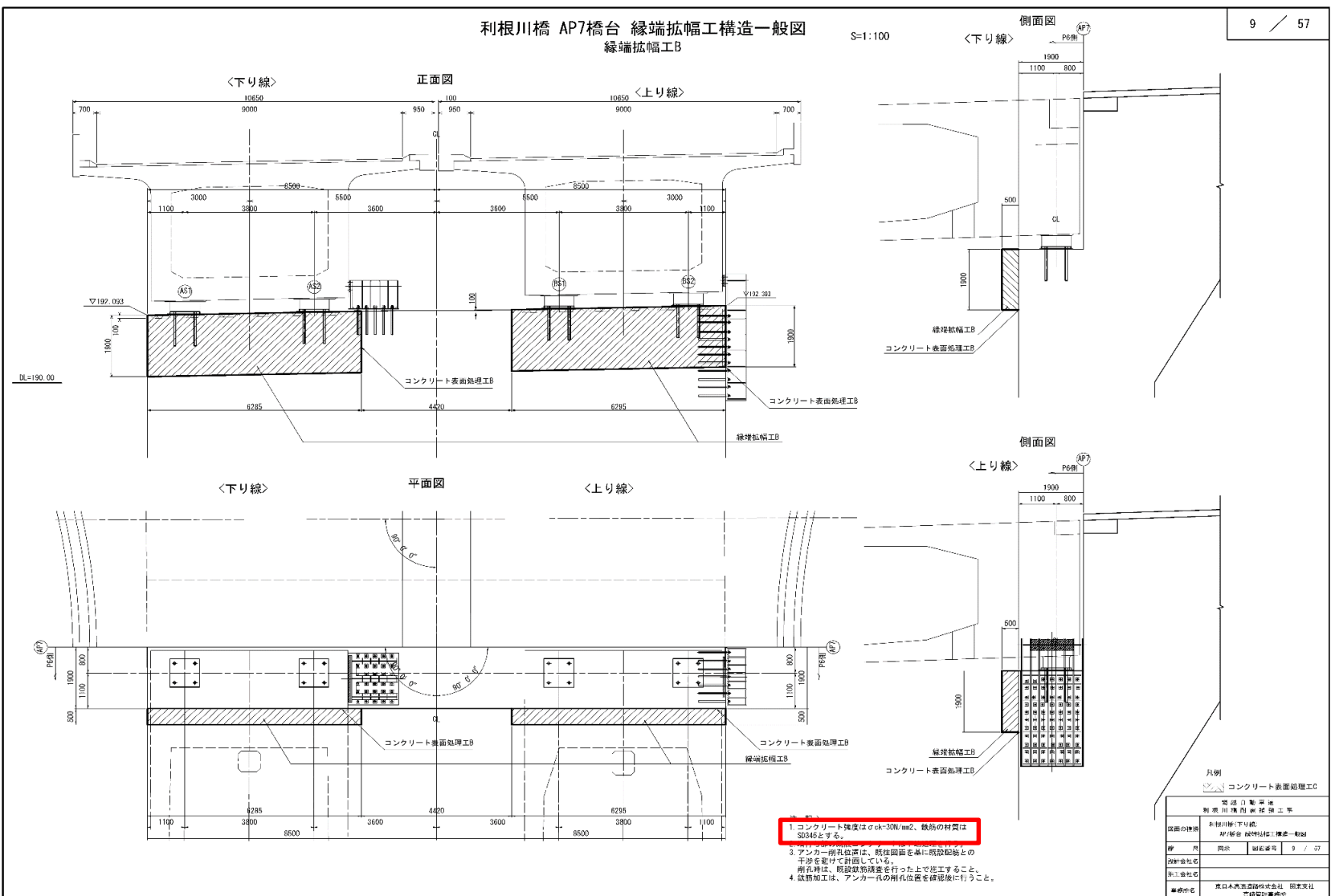
備考

注記の訂正

誤

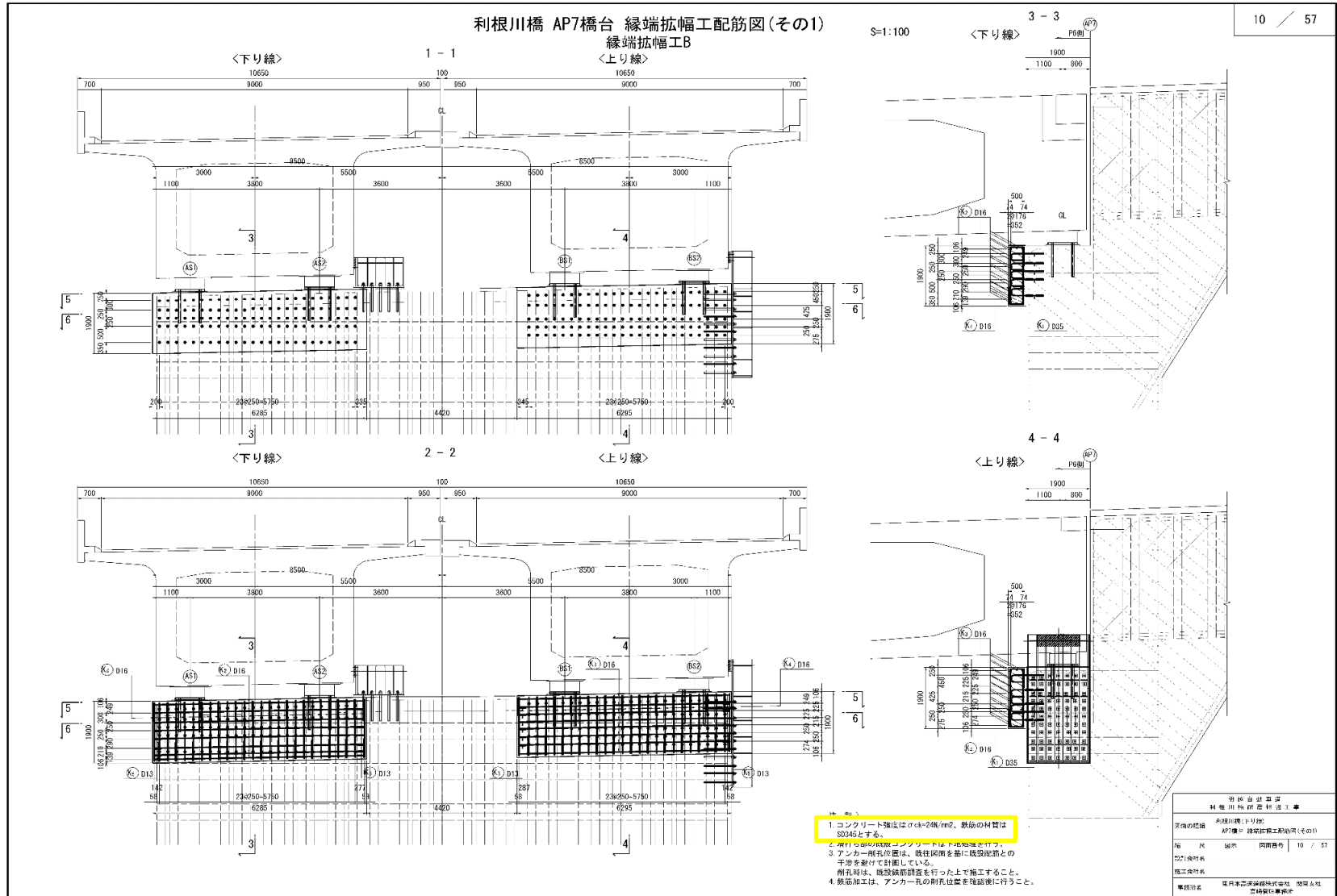


正

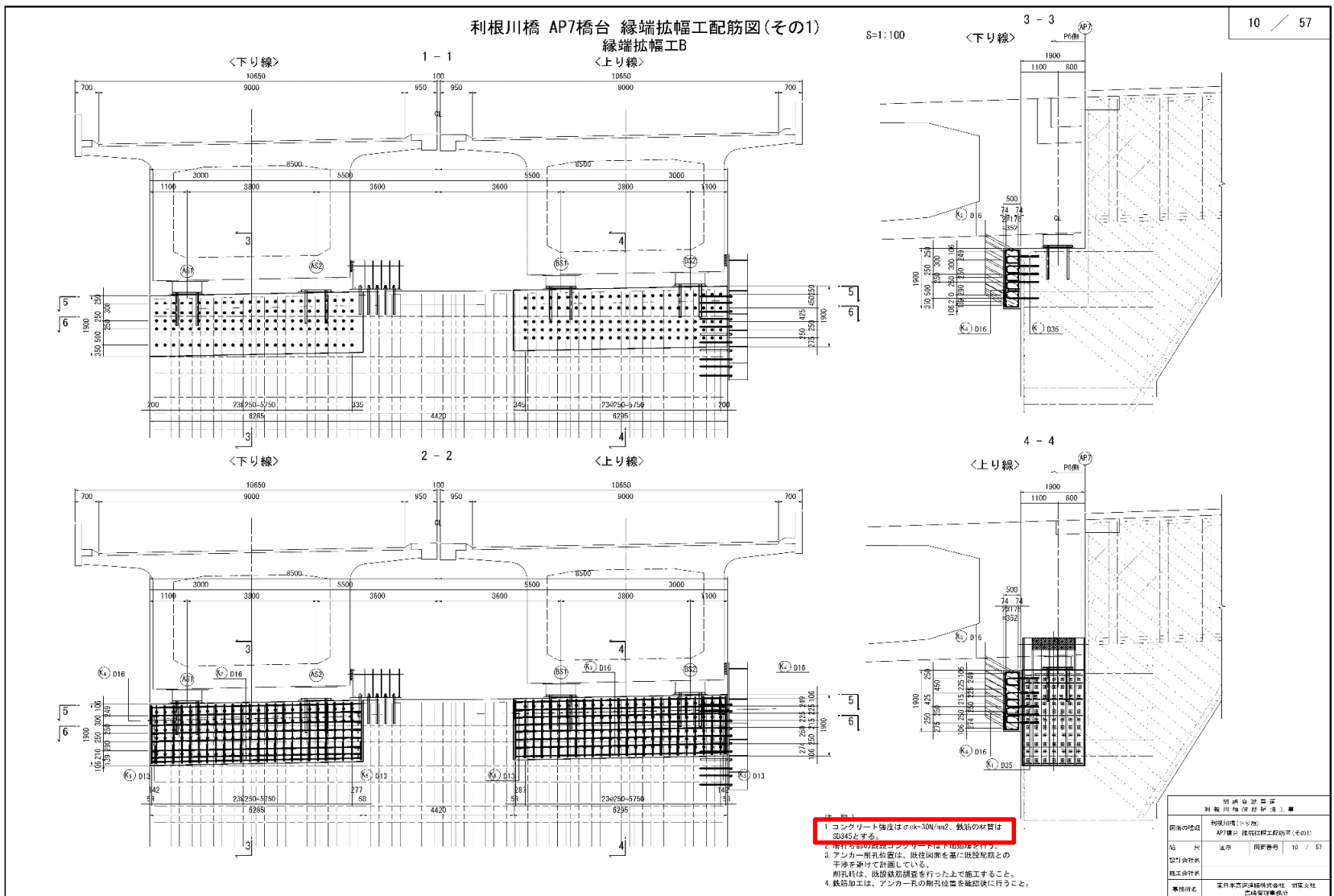


備考 注記の訂正

誤



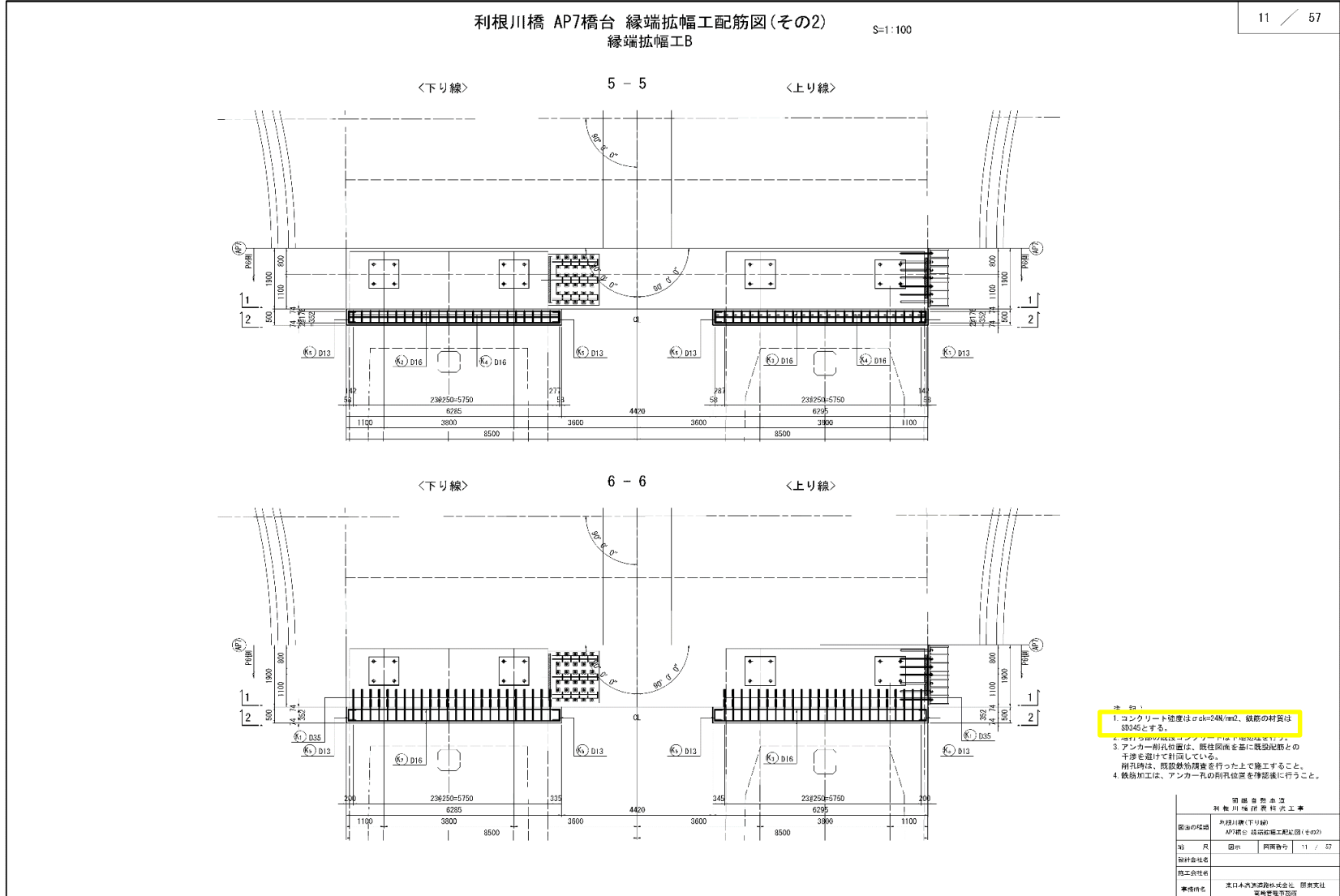
正



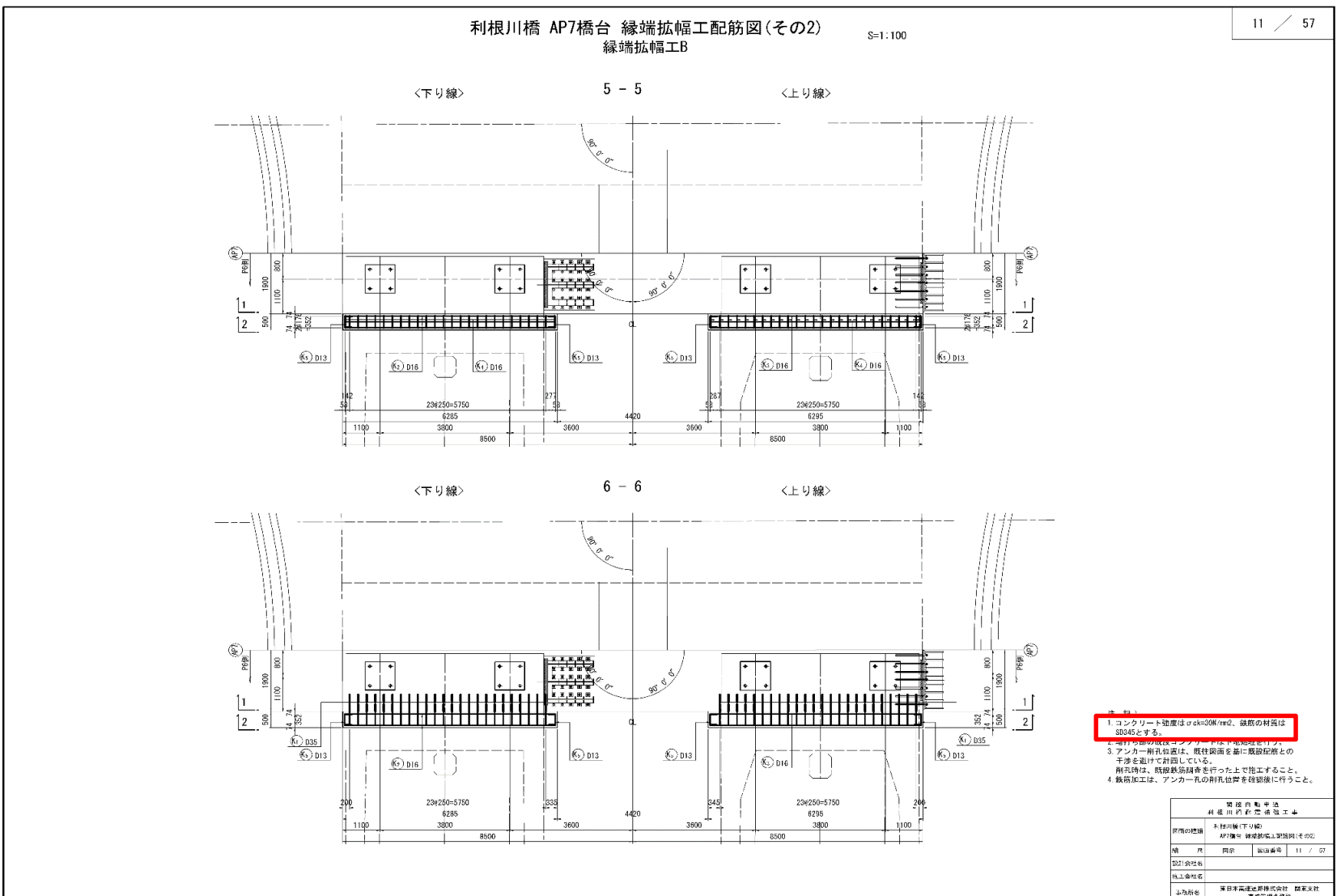
備考 注記の訂正



誤

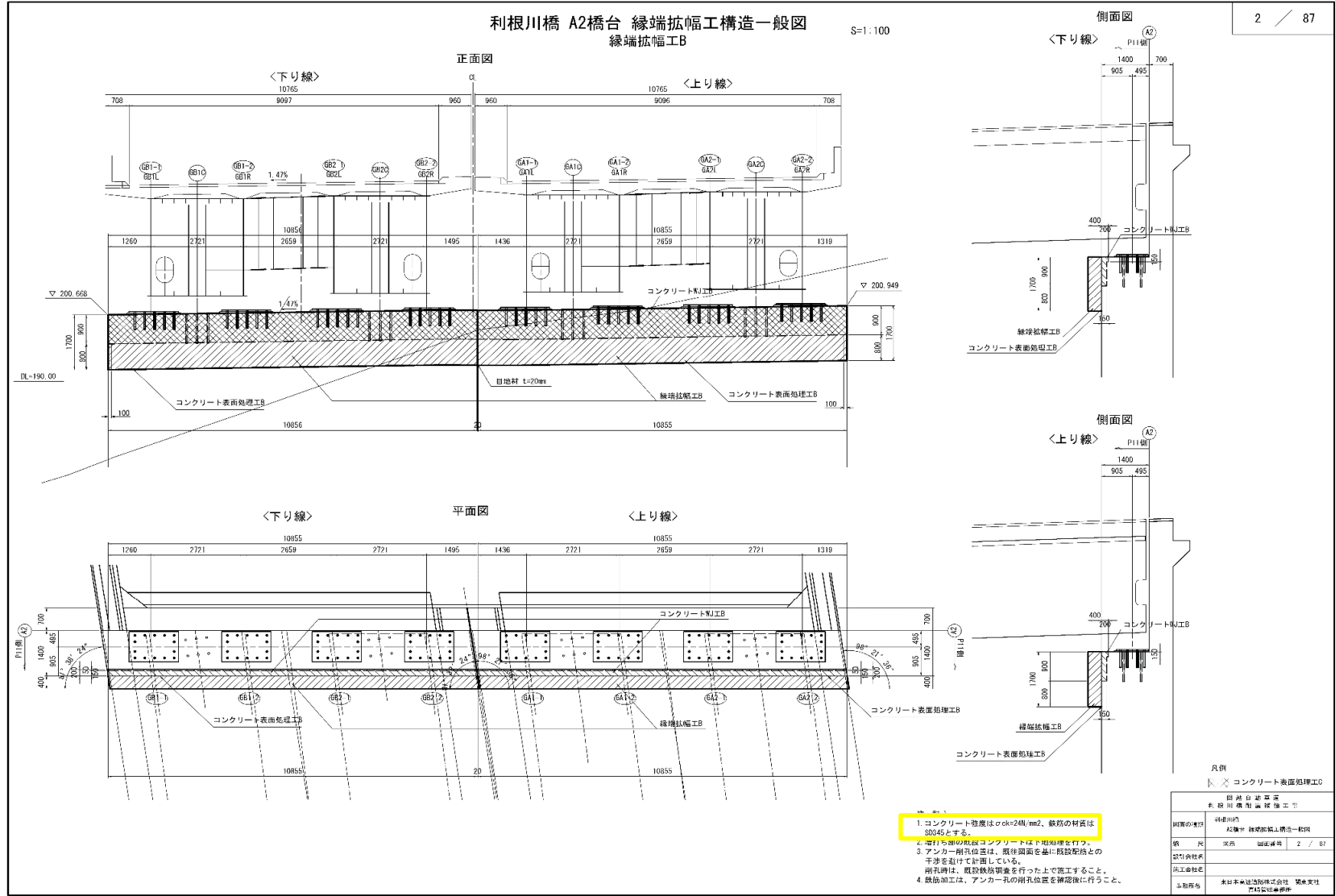


正

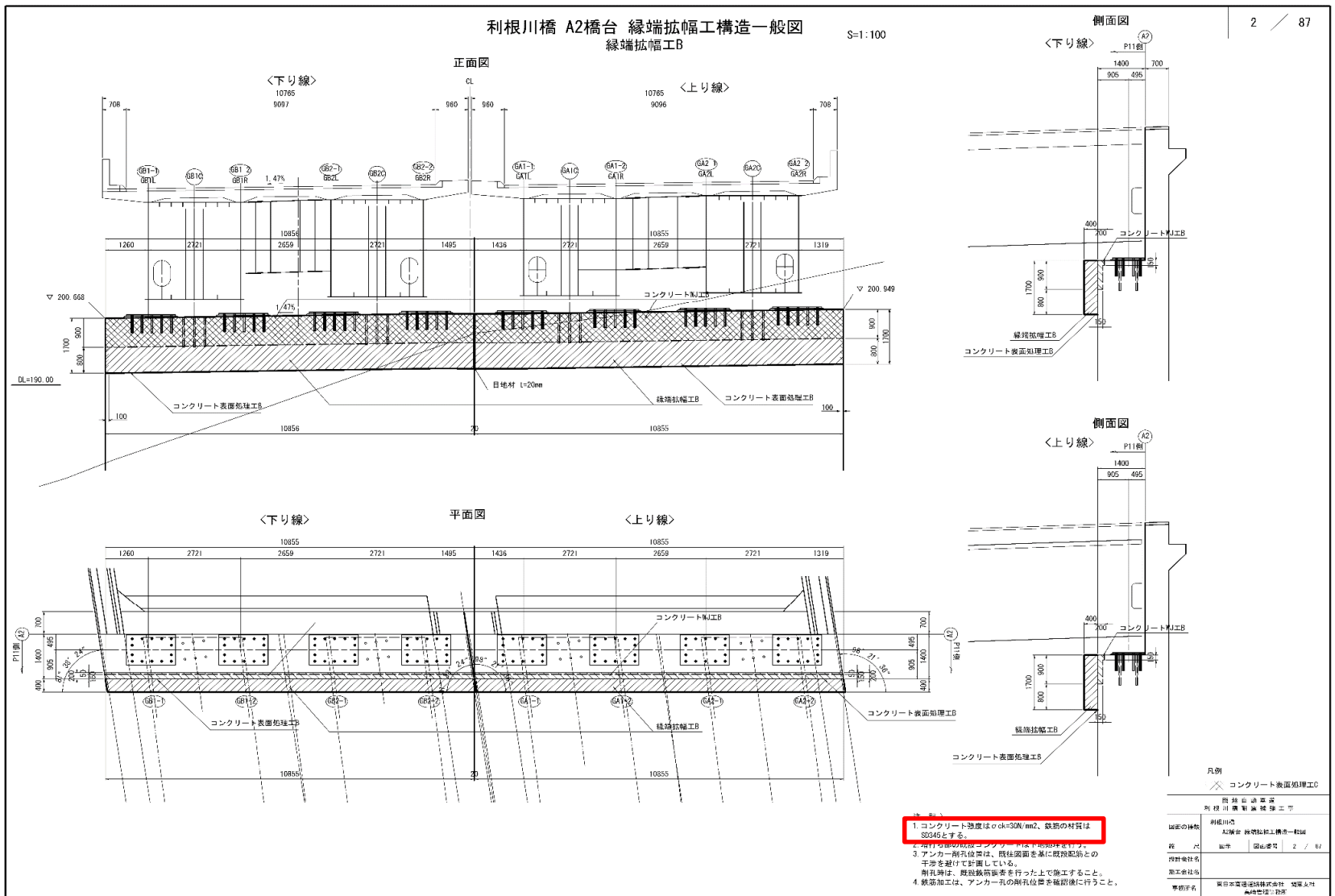


備考 注記の訂正

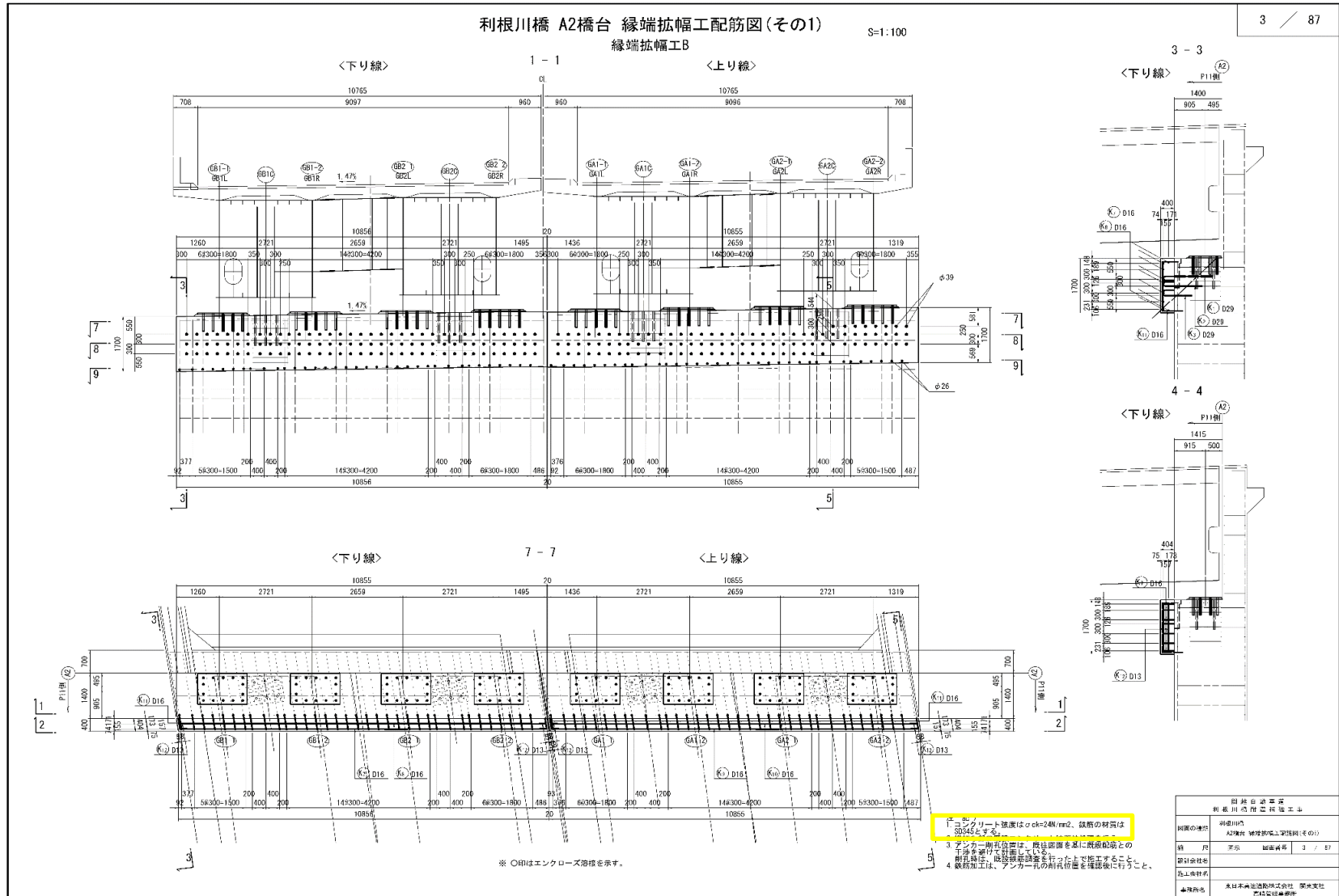
誤



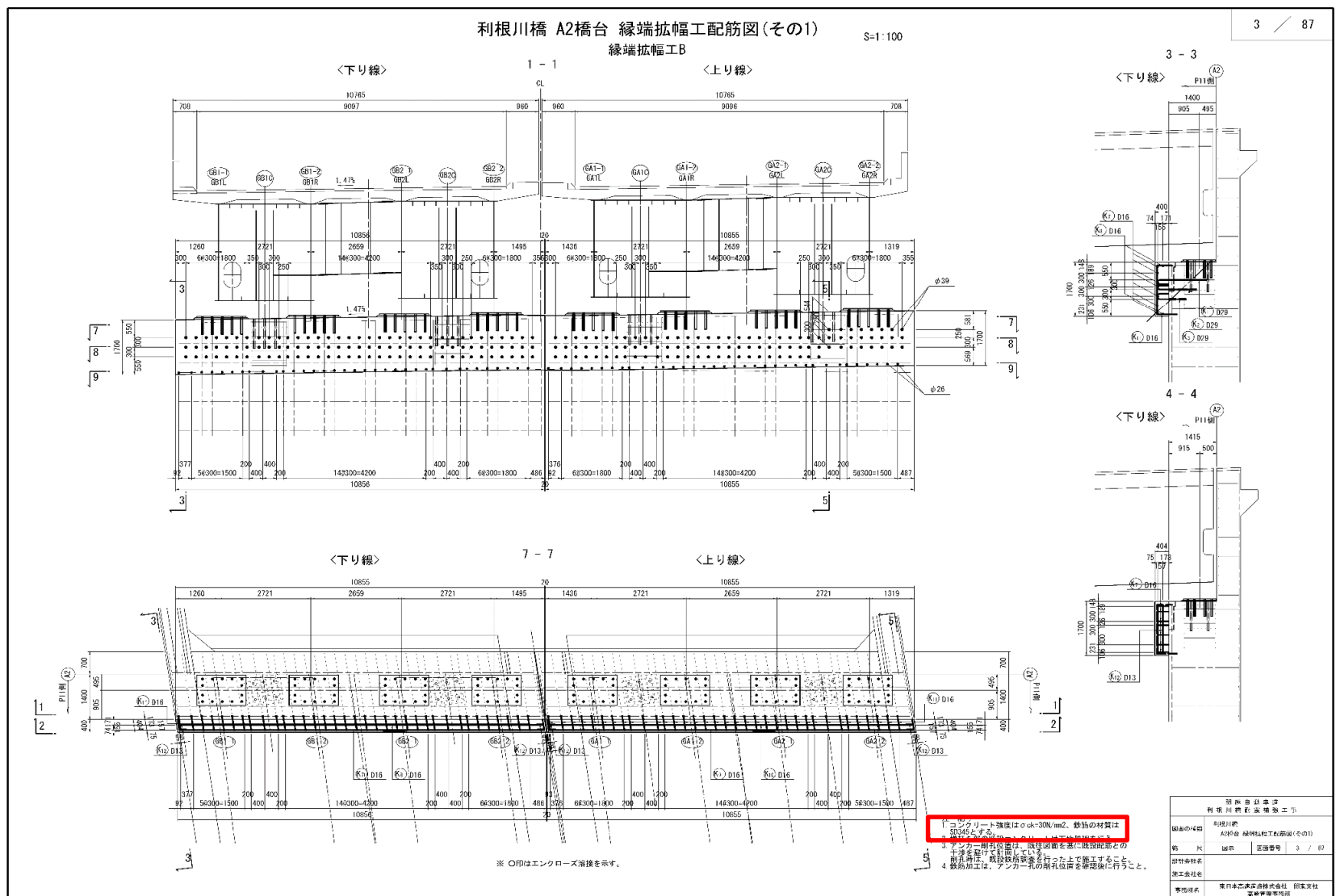
正



誤

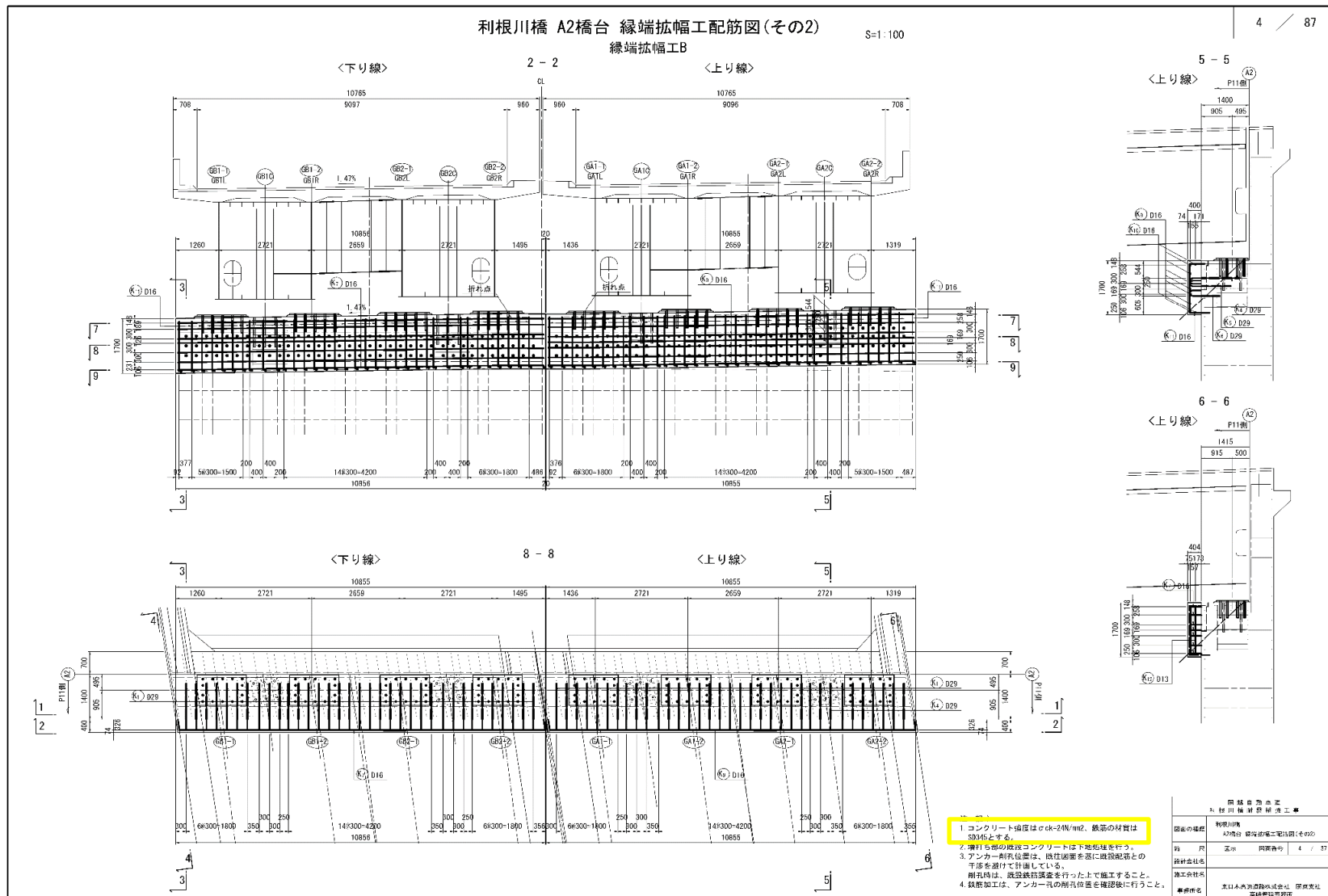


正

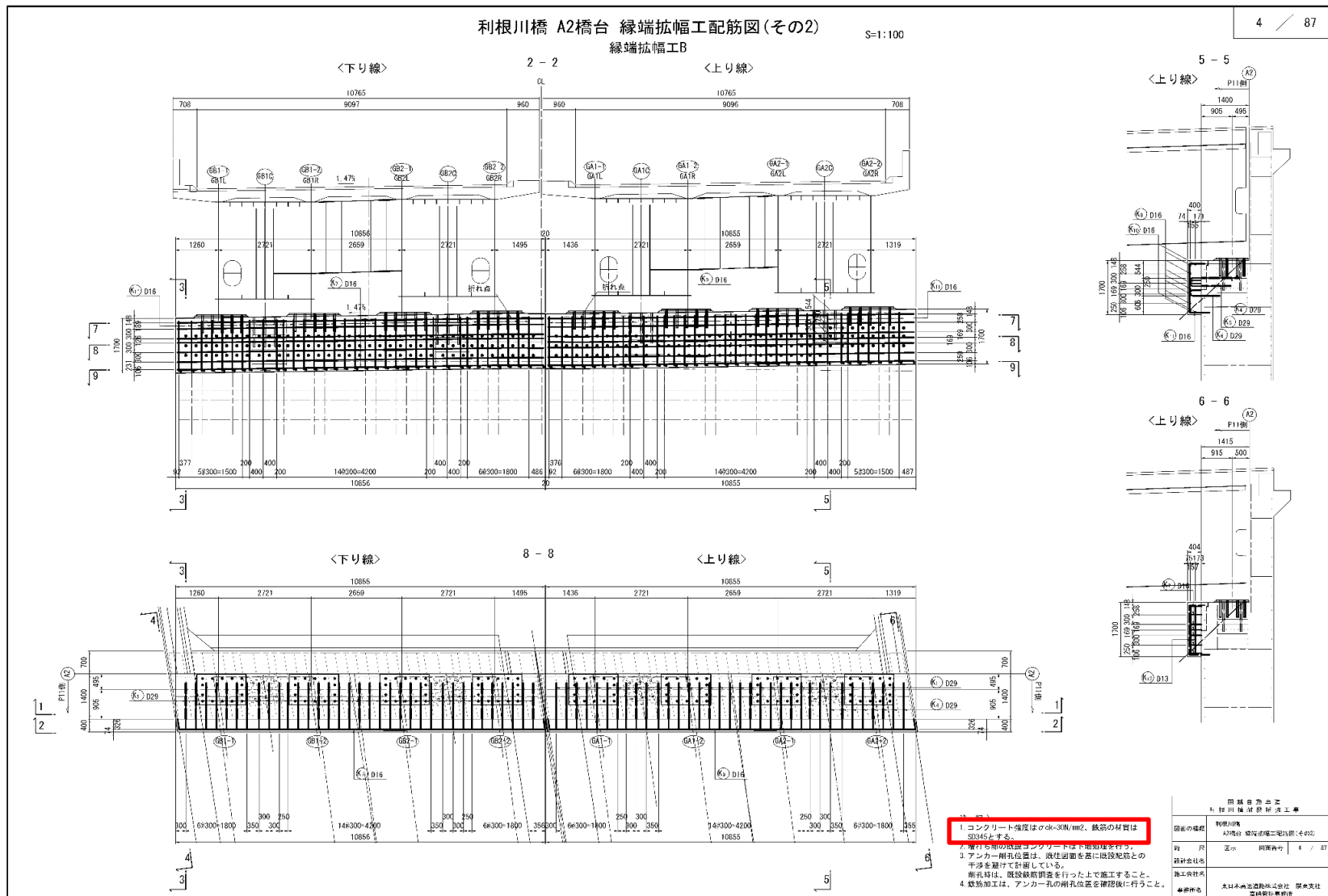




誤



正



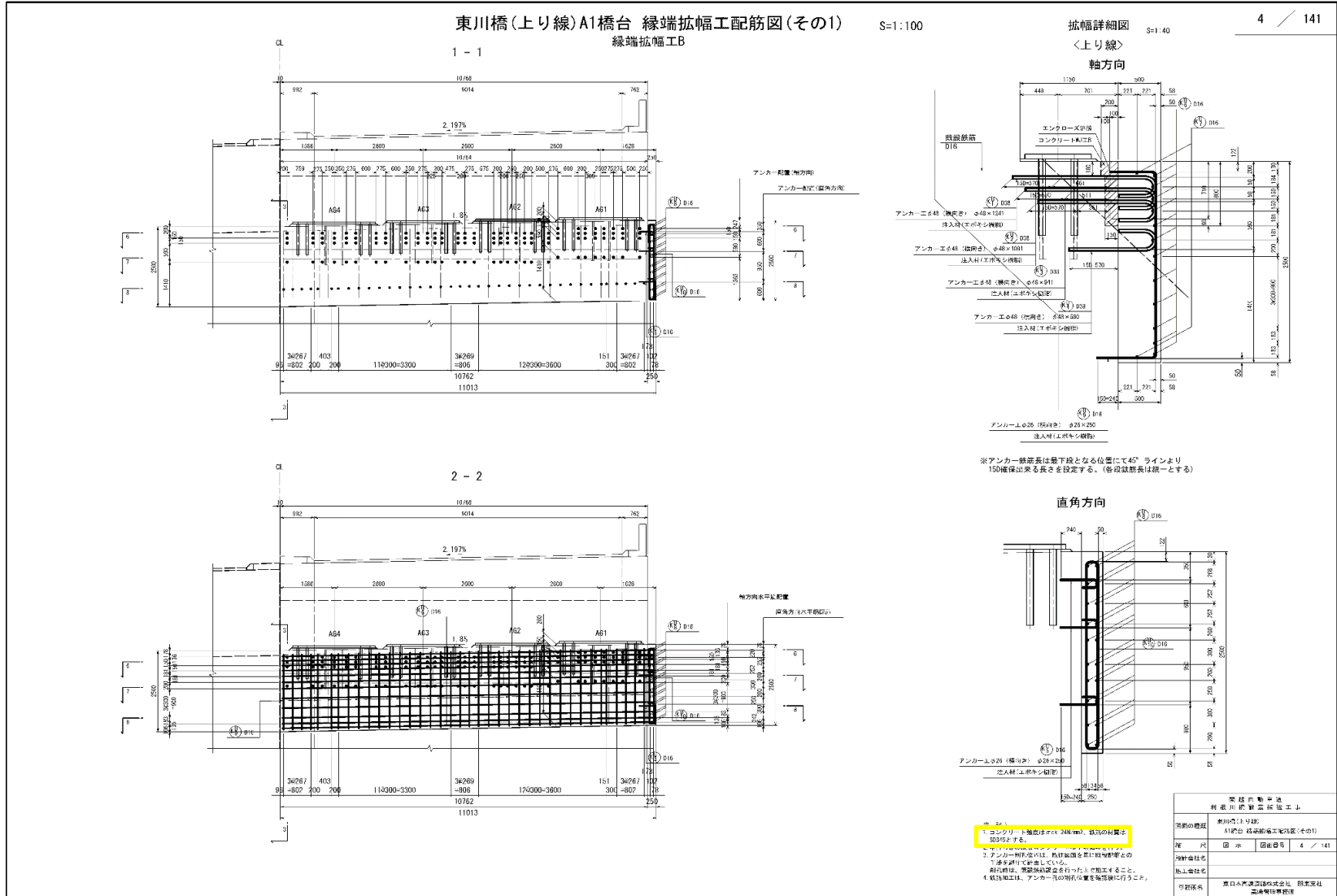
備考 注記の訂正



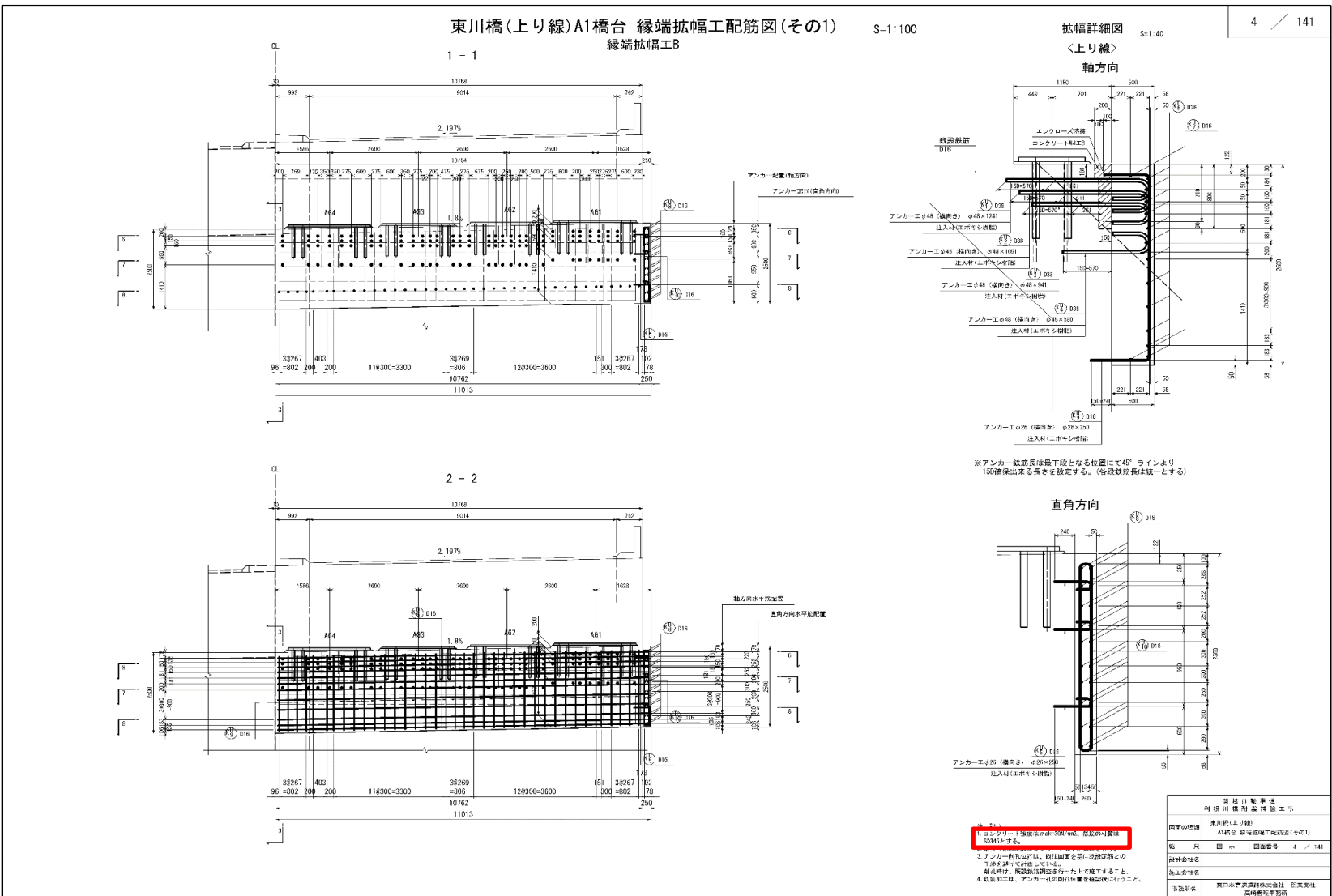




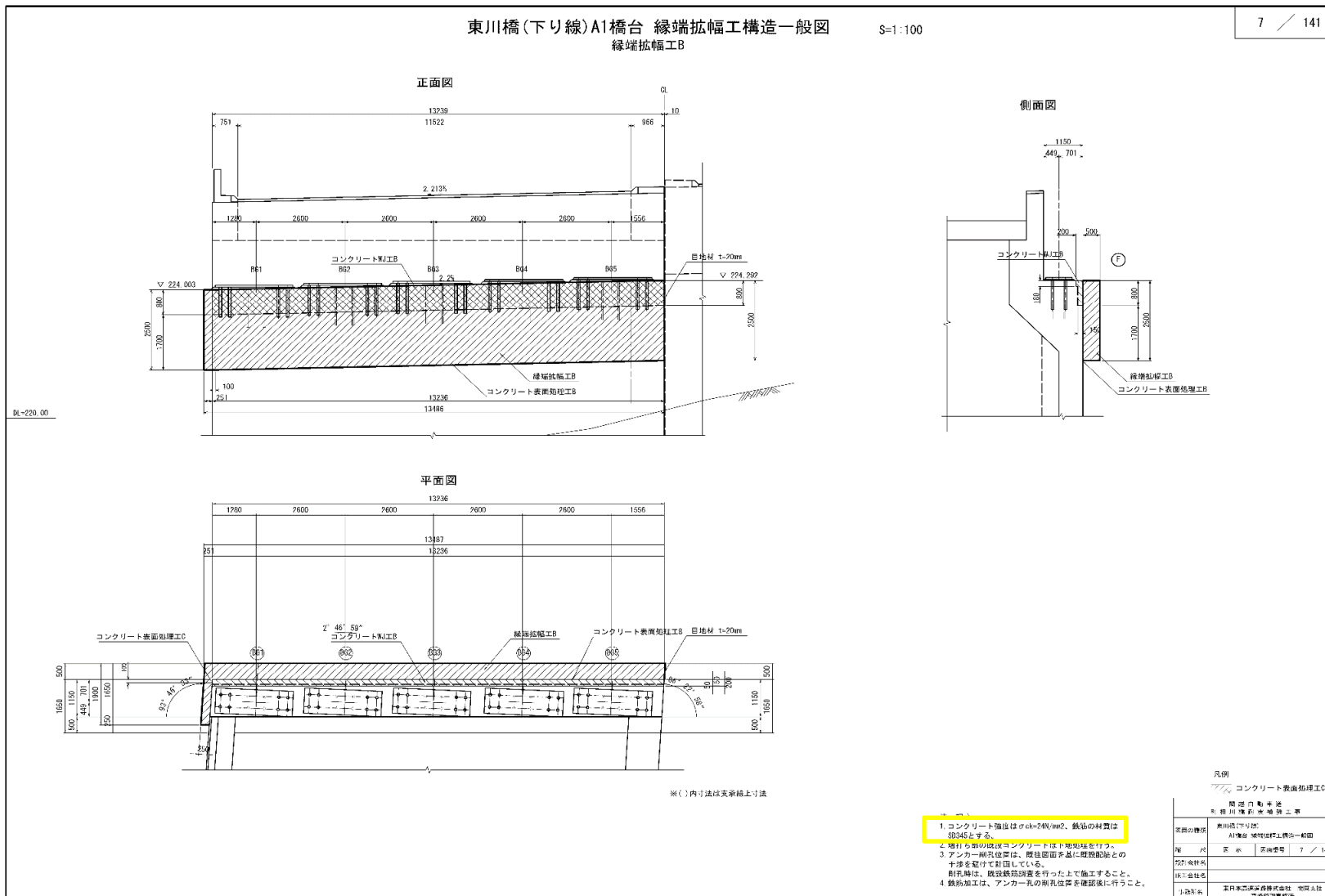
誤



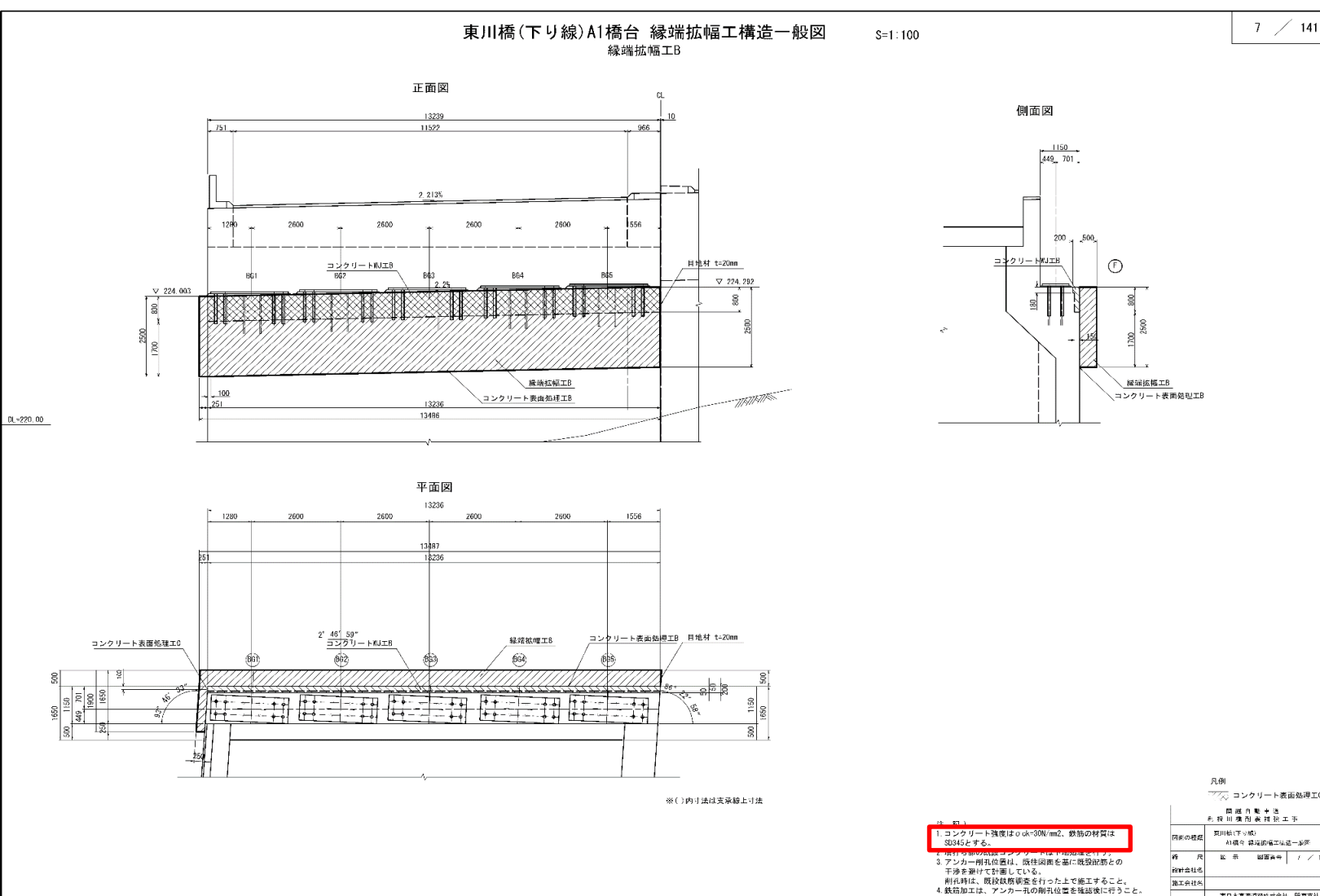
正



誤



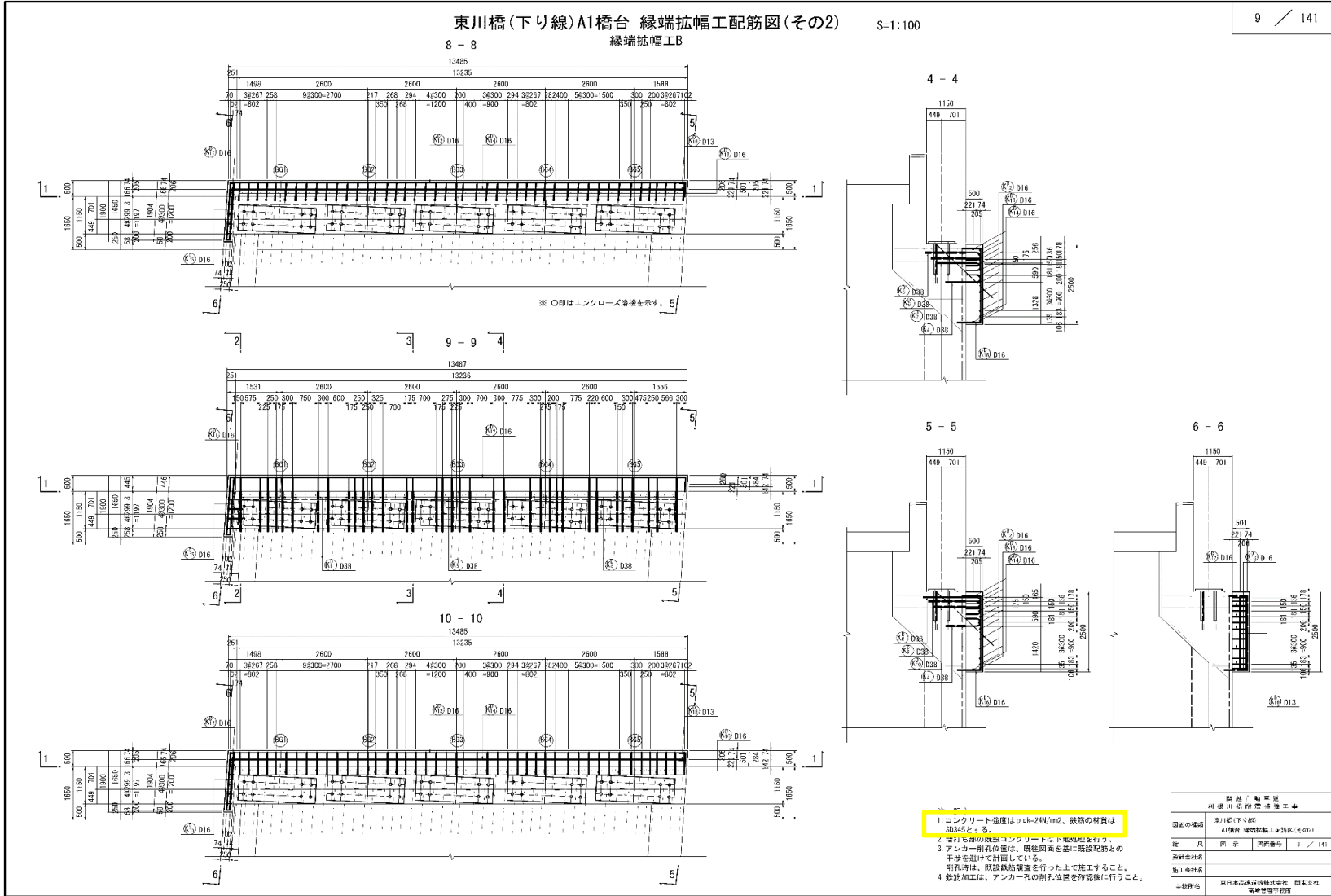
正



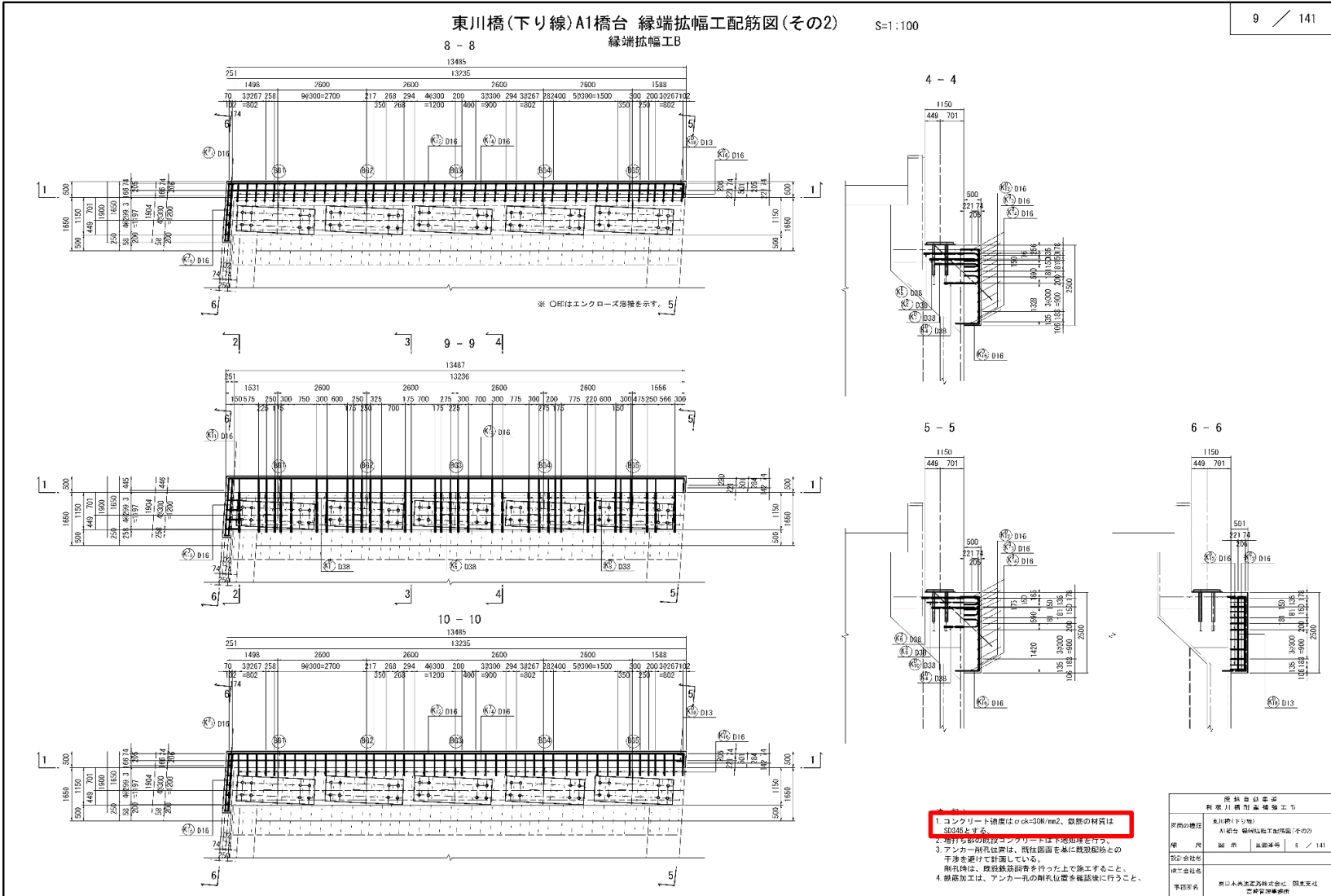
備考 注記の訂正



誤



正



備考

注記の訂正



対象	金抜設計書 工事概要																												
誤	<p style="text-align: right;">設計書番号 2235302</p> <p style="text-align: center;">工 事 概 要</p> <p>1. 工事名 関越自動車道 利根川橋耐震補強工事</p> <p>2. 路線名 関越自動車道</p> <p>3. 工事箇所 (白)群馬県 渋川市 中村 (KP 103.6 )  (至)群馬県 渋川市 赤城町 津久田 (KP 111.3 )</p> <p>(白) (至)</p> <p>(白) (至)</p> <p>(白) (至)</p> <p>(白) (至)</p> <p>4. 工 費</p> <p>工事価格対象額 円</p> <p>消費税および地方消費税相当額 円</p> <p>計 円</p> <p>5. 施工内容</p> <table border="0"> <tr><td>コンクリート</td><td>約120m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>塗替塗装</td><td>約230m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>落橋防止構造</td><td>16組</td></tr> <tr><td>炭素繊維巻立て工</td><td>約90m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>断面修復工</td><td>約520L</td></tr> <tr><td>はく落防止対策工</td><td>約350m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>表面保護工</td><td>約720m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>支取替工</td><td>84基</td></tr> <tr><td>段差防止装置</td><td>68箇所</td></tr> <tr><td>横変位拘束構造</td><td>4箇所</td></tr> <tr><td>固定アンカー工</td><td>9本</td></tr> <tr><td>アンカー工</td><td>約3,000m</td></tr> <tr><td>コンクリートWJ工</td><td>約7m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>検査路</td><td>約33,000kg</td></tr> </table> <p>6. 工 期 契約保証取得の日の翌日から660日間</p>	コンクリート	約120m <sup>3</sup>	塗替塗装	約230m <sup>2</sup>	落橋防止構造	16組	炭素繊維巻立て工	約90m <sup>2</sup>	断面修復工	約520L	はく落防止対策工	約350m <sup>2</sup>	表面保護工	約720m <sup>2</sup>	支取替工	84基	段差防止装置	68箇所	横変位拘束構造	4箇所	固定アンカー工	9本	アンカー工	約3,000m	コンクリートWJ工	約7m <sup>3</sup>	検査路	約33,000kg
コンクリート	約120m <sup>3</sup>																												
塗替塗装	約230m <sup>2</sup>																												
落橋防止構造	16組																												
炭素繊維巻立て工	約90m <sup>2</sup>																												
断面修復工	約520L																												
はく落防止対策工	約350m <sup>2</sup>																												
表面保護工	約720m <sup>2</sup>																												
支取替工	84基																												
段差防止装置	68箇所																												
横変位拘束構造	4箇所																												
固定アンカー工	9本																												
アンカー工	約3,000m																												
コンクリートWJ工	約7m <sup>3</sup>																												
検査路	約33,000kg																												
正	<p style="text-align: right;">設計書番号 2235302</p> <p style="text-align: center;">工 事 概 要</p> <p>1. 工事名 関越自動車道 利根川橋耐震補強工事</p> <p>2. 路線名 関越自動車道</p> <p>3. 工事箇所 (白)群馬県 渋川市 中村 (KP 103.6 )  (至)群馬県 渋川市 赤城町 津久田 (KP 111.3 )</p> <p>(白) (至)</p> <p>(白) (至)</p> <p>(白) (至)</p> <p>(白) (至)</p> <p>4. 工 費</p> <p>工事価格対象額 円</p> <p>消費税および地方消費税相当額 円</p> <p>計 円</p> <p>5. 施工内容</p> <table border="0"> <tr><td>コンクリート</td><td>約120m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>塗替塗装</td><td>約120m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>落橋防止構造</td><td>16組</td></tr> <tr><td>炭素繊維巻立て工</td><td>約90m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>断面修復工</td><td>約520L</td></tr> <tr><td>はく落防止対策工</td><td>約350m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>表面保護工</td><td>約720m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>支取替工</td><td>84基</td></tr> <tr><td>段差防止装置</td><td>68箇所</td></tr> <tr><td>横変位拘束構造</td><td>4箇所</td></tr> <tr><td>固定アンカー工</td><td>9本</td></tr> <tr><td>アンカー工</td><td>約3,000m</td></tr> <tr><td>コンクリートWJ工</td><td>約7m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>検査路</td><td>約33,000kg</td></tr> </table> <p>6. 工 期 契約保証取得の日の翌日から660日間</p>	コンクリート	約120m <sup>3</sup>	塗替塗装	約120m <sup>2</sup>	落橋防止構造	16組	炭素繊維巻立て工	約90m <sup>2</sup>	断面修復工	約520L	はく落防止対策工	約350m <sup>2</sup>	表面保護工	約720m <sup>2</sup>	支取替工	84基	段差防止装置	68箇所	横変位拘束構造	4箇所	固定アンカー工	9本	アンカー工	約3,000m	コンクリートWJ工	約7m <sup>3</sup>	検査路	約33,000kg
コンクリート	約120m <sup>3</sup>																												
塗替塗装	約120m <sup>2</sup>																												
落橋防止構造	16組																												
炭素繊維巻立て工	約90m <sup>2</sup>																												
断面修復工	約520L																												
はく落防止対策工	約350m <sup>2</sup>																												
表面保護工	約720m <sup>2</sup>																												
支取替工	84基																												
段差防止装置	68箇所																												
横変位拘束構造	4箇所																												
固定アンカー工	9本																												
アンカー工	約3,000m																												
コンクリートWJ工	約7m <sup>3</sup>																												
検査路	約33,000kg																												
備考	施工内容の数量訂正																												

誤

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	8 - ( 1)	コンクリート A 1 - 5	35	m <sup>3</sup>			
2	8 - ( 2)	型わく D	182	m <sup>2</sup>			
3	8 - ( 3)	鉄筋 A	5.09	t			
4	17 - ( 2)	塗替塗装 塗替塗装 (一般部) c - 3 - ( 1) w	231	m <sup>2</sup>			
5	17 - ( 9)	縁端拡幅工B コンクリート	82	m <sup>3</sup>			
6	17 - ( 9)	縁端拡幅工B 型わく	214	m <sup>2</sup>			
7	17 - ( 9)	縁端拡幅工B 鉄筋	14.17	t			
8	17 - ( 9)	縁端拡幅工B 鉄筋 D	0.74	t			
9	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 2 6 (横向き)	45	m			
10	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 3 9 (横向き)	173	m			
11	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 4 5 (横向き)	128	m			
12	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 4 8 (横向き)	339	m			

正

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	8 - ( 1)	コンクリート A 1 - 5	35	m <sup>3</sup>			
2	8 - ( 2)	型わく D	182	m <sup>2</sup>			
3	8 - ( 3)	鉄筋 A	5.09	t			
4	17 - ( 2)	塗替塗装 塗替塗装 (一般部) c - 3 - ( 1) w	120	m <sup>2</sup>			
5	17 - ( 9)	縁端拡幅工B コンクリート	82	m <sup>3</sup>			
6	17 - ( 9)	縁端拡幅工B 型わく	214	m <sup>2</sup>			
7	17 - ( 9)	縁端拡幅工B 鉄筋	14.17	t			
8	17 - ( 9)	縁端拡幅工B 鉄筋 D	0.74	t			
9	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 2 6 (横向き)	45	m			
10	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 3 9 (横向き)	173	m			
11	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 4 5 (横向き)	128	m			
12	17 - ( 9)	縁端拡幅工B アンカー工φ 4 8 (横向き)	339	m			

備考 単価表の数量訂正

対象	特記仕様書 (P. 33)				
誤	<table border="1" data-bbox="630 237 1480 1418"> <tr> <td data-bbox="730 311 829 528">E-650 (1114.8) E-1900 (1448.4) E-1900 (1779.1)</td> <td data-bbox="850 311 1423 528">           4) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆            5) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え)            6) 既設支承座コンクリートのはつり処理            7) 既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬  <b>8) 支承台座部の鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設、無収縮モルタル打設、養生</b>            9) 新設支承の設置 (ベースプレートとアンカーボルト、ベースプレートと下巻現場溶接：利根川P11、A2)、支承セットボルト締め付け、支承溶接部の防錆         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="730 638 829 807">E-2250 (1554.9) E-2100 (1624.6) E-2050 (1744.1) E-2350 (1865.3)</td> <td data-bbox="850 534 1423 934">           1) 近接調査計測工            (既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等)            2) 芯出し調整工            (ジャッキアップブラケット、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材設置位置及びボルト孔明位置の芯出し)            3) ジャッキアップブラケット背面の既設構造物チップング、不陸整正、ジャッキアップブラケットの製作・防錆・輸送、荷卸し、仮置き、取付け            4) 補強部材取付け箇所の素地調整、高力ボルト接合部の現場孔明、補強部材取付け箇所の既設補剛材の切断・撤去・グラインダー仕上げ            5) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆            6) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え)            7) 既設支承座コンクリートのはつり処理、既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬  <b>8) 新設支承の設置、セットボルトの本締め、支承台座部の鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設、無収縮モルタル打設、養生</b>            9) ジャッキアップブラケットの撤去、上栗須資材置場までの運搬         </td> </tr> </table> <p data-bbox="739 934 1423 1291">           ※ (1) E-2250 (1554.9)、E-2100 (1624.6)、E-2050 (1744.1)、E-2350 (1865.3) のジャッキアップブラケットは支承取替後に撤去するため無塗装とする。            ※ (2) 支承取替工のジャッキアップ補強部材・支承補強部材・ソールプレートの製作、輸送、防錆、架設、高力ボルト本締め等は、共通仕様書10-6「鋼構造物の製作」、10-7「鋼構造物の防錆」、10-8「鋼構造物の輸送」、10-8「鋼構造物の架設」、の関連する規定に準拠するものとする。            25-10-3 施工            共通仕様書17-12-3「施工」に下記の内容を追加する。            (1) 既設支承撤去時の支承台座部のコンクリートのはつり処理は監督員の指示に従ってWJ工法によりはつり処理を行うものとする。施工については本特記仕様書25-17-3「施工」1)～8)によるものとする。            25-10-4 数量の検測            支承取替工の数量の検測は、設計数量(基)で行うものとする。         </p> <p data-bbox="1066 1371 1096 1400">33</p>	E-650 (1114.8) E-1900 (1448.4) E-1900 (1779.1)	4) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 5) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 6) 既設支承座コンクリートのはつり処理 7) 既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 支承台座部の鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設、無収縮モルタル打設、養生</b> 9) 新設支承の設置 (ベースプレートとアンカーボルト、ベースプレートと下巻現場溶接：利根川P11、A2)、支承セットボルト締め付け、支承溶接部の防錆	E-2250 (1554.9) E-2100 (1624.6) E-2050 (1744.1) E-2350 (1865.3)	1) 近接調査計測工 (既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等) 2) 芯出し調整工 (ジャッキアップブラケット、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材設置位置及びボルト孔明位置の芯出し) 3) ジャッキアップブラケット背面の既設構造物チップング、不陸整正、ジャッキアップブラケットの製作・防錆・輸送、荷卸し、仮置き、取付け 4) 補強部材取付け箇所の素地調整、高力ボルト接合部の現場孔明、補強部材取付け箇所の既設補剛材の切断・撤去・グラインダー仕上げ 5) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 6) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 7) 既設支承座コンクリートのはつり処理、既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 新設支承の設置、セットボルトの本締め、支承台座部の鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設、無収縮モルタル打設、養生</b> 9) ジャッキアップブラケットの撤去、上栗須資材置場までの運搬
E-650 (1114.8) E-1900 (1448.4) E-1900 (1779.1)	4) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 5) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 6) 既設支承座コンクリートのはつり処理 7) 既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 支承台座部の鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設、無収縮モルタル打設、養生</b> 9) 新設支承の設置 (ベースプレートとアンカーボルト、ベースプレートと下巻現場溶接：利根川P11、A2)、支承セットボルト締め付け、支承溶接部の防錆				
E-2250 (1554.9) E-2100 (1624.6) E-2050 (1744.1) E-2350 (1865.3)	1) 近接調査計測工 (既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等) 2) 芯出し調整工 (ジャッキアップブラケット、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材設置位置及びボルト孔明位置の芯出し) 3) ジャッキアップブラケット背面の既設構造物チップング、不陸整正、ジャッキアップブラケットの製作・防錆・輸送、荷卸し、仮置き、取付け 4) 補強部材取付け箇所の素地調整、高力ボルト接合部の現場孔明、補強部材取付け箇所の既設補剛材の切断・撤去・グラインダー仕上げ 5) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 6) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 7) 既設支承座コンクリートのはつり処理、既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 新設支承の設置、セットボルトの本締め、支承台座部の鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設、無収縮モルタル打設、養生</b> 9) ジャッキアップブラケットの撤去、上栗須資材置場までの運搬				
正	<table border="1" data-bbox="630 1484 1480 2665"> <tr> <td data-bbox="730 1558 829 1697">E-650 (1114.8) E-1900 (1448.4) E-1900 (1779.1)</td> <td data-bbox="850 1558 1423 1765">           4) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆            5) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え)            6) 既設支承座コンクリートのはつり処理            7) 既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬  <b>8) 支承台座部の無収縮モルタル打設、養生</b>            9) 新設支承の設置 (ベースプレートとアンカーボルト、ベースプレートと下巻現場溶接：利根川P11、A2)、支承セットボルト締め付け、支承溶接部の防錆         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="730 1869 829 2039">E-2250 (1554.9) E-2100 (1624.6) E-2050 (1744.1) E-2350 (1865.3)</td> <td data-bbox="850 1765 1423 2151">           1) 近接調査計測工            (既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等)            2) 芯出し調整工            (ジャッキアップブラケット、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材設置位置及びボルト孔明位置の芯出し)            3) ジャッキアップブラケット背面の既設構造物チップング、不陸整正、ジャッキアップブラケットの製作・防錆・輸送、荷卸し、仮置き、取付け            4) 補強部材取付け箇所の素地調整、高力ボルト接合部の現場孔明、補強部材取付け箇所の既設補剛材の切断・撤去・グラインダー仕上げ            5) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆            6) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え)            7) 既設支承座コンクリートのはつり処理、既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬  <b>8) 新設支承の設置、セットボルトの本締め、支承台座部の無収縮モルタル打設、養生</b>            9) ジャッキアップブラケットの撤去、上栗須資材置場までの運搬         </td> </tr> </table> <p data-bbox="739 2151 1423 2507">           ※ (1) E-2250 (1554.9)、E-2100 (1624.6)、E-2050 (1744.1)、E-2350 (1865.3) のジャッキアップブラケットは支承取替後に撤去するため無塗装とする。            ※ (2) 支承取替工のジャッキアップ補強部材・支承補強部材・ソールプレートの製作、輸送、防錆、架設、高力ボルト本締め等は、共通仕様書10-6「鋼構造物の製作」、10-7「鋼構造物の防錆」、10-8「鋼構造物の輸送」、10-8「鋼構造物の架設」、の関連する規定に準拠するものとする。            25-10-3 施工            共通仕様書17-12-3「施工」に下記の内容を追加する。            (1) 既設支承撤去時の支承台座部のコンクリートのはつり処理は監督員の指示に従ってWJ工法によりはつり処理を行うものとする。施工については本特記仕様書25-17-3「施工」1)～8)によるものとする。            25-10-4 数量の検測            支承取替工の数量の検測は、設計数量(基)で行うものとする。         </p> <p data-bbox="1066 2617 1096 2647">33</p>	E-650 (1114.8) E-1900 (1448.4) E-1900 (1779.1)	4) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 5) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 6) 既設支承座コンクリートのはつり処理 7) 既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 支承台座部の無収縮モルタル打設、養生</b> 9) 新設支承の設置 (ベースプレートとアンカーボルト、ベースプレートと下巻現場溶接：利根川P11、A2)、支承セットボルト締め付け、支承溶接部の防錆	E-2250 (1554.9) E-2100 (1624.6) E-2050 (1744.1) E-2350 (1865.3)	1) 近接調査計測工 (既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等) 2) 芯出し調整工 (ジャッキアップブラケット、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材設置位置及びボルト孔明位置の芯出し) 3) ジャッキアップブラケット背面の既設構造物チップング、不陸整正、ジャッキアップブラケットの製作・防錆・輸送、荷卸し、仮置き、取付け 4) 補強部材取付け箇所の素地調整、高力ボルト接合部の現場孔明、補強部材取付け箇所の既設補剛材の切断・撤去・グラインダー仕上げ 5) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 6) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 7) 既設支承座コンクリートのはつり処理、既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 新設支承の設置、セットボルトの本締め、支承台座部の無収縮モルタル打設、養生</b> 9) ジャッキアップブラケットの撤去、上栗須資材置場までの運搬
E-650 (1114.8) E-1900 (1448.4) E-1900 (1779.1)	4) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 5) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 6) 既設支承座コンクリートのはつり処理 7) 既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 支承台座部の無収縮モルタル打設、養生</b> 9) 新設支承の設置 (ベースプレートとアンカーボルト、ベースプレートと下巻現場溶接：利根川P11、A2)、支承セットボルト締め付け、支承溶接部の防錆				
E-2250 (1554.9) E-2100 (1624.6) E-2050 (1744.1) E-2350 (1865.3)	1) 近接調査計測工 (既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等) 2) 芯出し調整工 (ジャッキアップブラケット、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材設置位置及びボルト孔明位置の芯出し) 3) ジャッキアップブラケット背面の既設構造物チップング、不陸整正、ジャッキアップブラケットの製作・防錆・輸送、荷卸し、仮置き、取付け 4) 補強部材取付け箇所の素地調整、高力ボルト接合部の現場孔明、補強部材取付け箇所の既設補剛材の切断・撤去・グラインダー仕上げ 5) 補強部材の製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き、支承補強部材・ジャッキアップ補強部材・ソールプレート取付、高力ボルト本締め、ピンテール仕上げ、補強部材本体及びボルト添接部、ボルト頭部の防錆 6) 反力受替 (ジャッキアップ、ジャッキダウン、ジャッキ盛替え) 7) 既設支承座コンクリートのはつり処理、既設アンカーボルトの切断撤去、既設支承の撤去、上栗須資材置場までの運搬 <b>8) 新設支承の設置、セットボルトの本締め、支承台座部の無収縮モルタル打設、養生</b> 9) ジャッキアップブラケットの撤去、上栗須資材置場までの運搬				
備考	特記仕様書 「鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設、」の文言を削除。				